

平成25年度

みなかみ町教育委員会点検・評価報告書
(平成24年度事業対象)

平成25年12月

みなかみ町教育委員会

目 次

1. 点検・評価の概要	1
2. みなかみ町の教育行政方針	3
3. 教育委員会会議・教育委員の活動状況	11
4. 教育委員会各事業	
総務・学校グループ	19
生涯学習推進室	37
5. 学識経験者の意見等	63

1. 点検・評価の概要

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行状況について、学識経験者の知見を活用して点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

そこで、みなかみ町教育委員会では効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすことを目的として、同法の規定に基づいて実施した点検と評価の結果をまとめました。

この報告書は、教育委員会の活動について年度内の重要な施策事業について点検と評価を行うものであります。

みなかみ町教育委員会は点検と評価の実施を通じて、施策の効果的な実施と改善を図り、教育施策の着実な推進に努めたいと考えますので、皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成25年12月

みなかみ町教育委員会

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象事業

対象事業は平成24年度事業とし、総務・学校グループ、生涯学習推進室におけるそれぞれの重点項目事業とします。

3 点検評価の実施方法

教育委員会が行ってる事業についての取組状況が施策と成果の報告書によりまとめられています。報告書を基にして教育委員会会議・教育委員の活動状況も含めて教育に関し学識経験を有する外部の方々に意見をいただく。

4 外部評価者

・学校教育関係 石坂 作次	元みなかみ町教育委員
・生涯学習関係 高橋 和秀	元みなかみ町立月夜野中学校長

2. みなかみ町の教育行政方針

生きる喜びに満ちた心豊かな人々の町

すべての町の人々に豊かな学びを

《基本理念》

みなかみ町教育委員会は、教育基本法の理念の下に、幼児、児童、生徒および町民一人ひとりを尊重し、それぞれの人生の時期に応じて学校教育や生涯学習、文化、スポーツ、更には地域の貴重な歴史的、文化的資源などを生かした学習環境と学習機会の提供に努めることにより学びを保障し、豊かな心・高い知性・健康な身体を培い、生きる喜びに満ちた人間性豊かな町民の育成を目指して教育行政を推進する。

《基本方針》

みなかみ町教育委員会は、基本理念の具体的実現を図るため、次の基本方針に沿って諸施策の推進に努める。

I 幼稚園・学校教育 …… 「生きる力」を鍛え育む教育を

1 幼稚園・学校教育の充実

学習指導要領、幼稚園教育要領に則り、「郷土みなかみを愛し、21世紀に生きる思いやりのある、強くたくましい児童生徒」の育成を目指し、教育水準の向上を図り、逞しい「生きる力」を培うため全教育活動を通じた幼稚園・学校教育の充実に努める。

2 教育環境の整備

学校教育の充実のため、町内小中学校等の教育環境の計画的な整備に努める。

II 生涯学習・社会教育・文化・スポーツの振興 …… 豊かなスタディ・チャンス

3 生涯学習の振興

生きる喜びに満ち、心の豊かさと学ぶ意欲に溢れた生涯学習社会を目ざし、生涯学習推進体制の充実や関係機関、各種団体と連携を図り、町民の学習ニーズや人生の各時期に応じた学習機会と場の提供に努める。

4 社会教育の充実

生涯学習社会に対応した多様な学習機会や施設設備を整備するとともに、家庭や地域の教育機能の活性化を図るための諸施策の展開に努める。

5 文化の振興

町民の文化振興に関する意識を高め、誰もが楽しめる地域文化活動を促進し、文化財の保存・活用等に努める。

6 スポーツ活動の充実

町民の生きがいと健康増進のため、全町民生涯スポーツを目ざし、軽スポーツの普及や地域に根ざしたスポーツ、競技スポーツの振興を図るとともに、そのための施設・設備の整備に努める。

《重点施策》

「生きる力」を鍛え育む教育を

1 幼稚園・学校教育の充実

(1) 学力の向上

① 学習指導の充実

ア 教育課程の適切な編成・着実な実施（新学習指導要領の理解の徹底）

イ 基礎的・基本的学習内容の確かな定着

- ・少人数指導、T・T等個に応じた指導ときめ細かな指導の充実
- ・自ら学ぶ意欲を引き出す授業の充実
- ・「判断力、思考力、表現力」の育成を意図した授業の充実（PISA型学力）
- ・効果的なICT活用による授業の充実
- ・意図的・計画的な家庭学習の充実と徹底

ウ 学力検査等を生かした授業の改善

- ・全国学習状況調査の活用（抽出校他全校）
- ・偏差値1ポイントアップ作戦

エ ALTの活用による英語教育・外国語活動の充実

(2) 教職員の資質の向上

① 教職員研修の充実

ア 校内研修の内容、方法の改善・充実

イ 各種教員研修の充実（管理職、5年目、10年目、初任等）

ウ 個人の研究課題による研修の充実（教科指導、教育者として等）

エ 一人一研究授業の実践

オ 三国会の研修の充実（小中連携教育の推進・資質向上の視点・同日開催）

② 教職員の心身の健康管理 メンタルヘルスの確保

③ 教職員の服務規律の確保 教育者としての自覚と責任の追求

(3) 心豊かな児童生徒の育成

① 道徳教育の充実

ア 新学習指導要領に基づく道徳教育の実践と推進

- ・体験活動、諸行事等との関連を意図した指導の充実
- ・道徳指導教諭を核にした体系的指導体制（量的・質的確保）

イ 人を思いやる優しさなど心の教育の充実

- ・体験活動等、体験的なものを生かした指導（ボランティア、自然体験等）

ウ 家庭との連携による徳性の涵養

- ・「ルールブック50」の活用
- ・家庭の協力による基本的生活習慣の確立

② 生徒指導の充実

ア 児童生徒の安全・安心の確保

イ 粘り、忍耐、自立の力を鍛え育てる指導の実践（諸場面で）

- ・自主的に行動・判断できる力の育成

- ・情報化社会の負の部分認識した指導の徹底（ケータイ等）
 - ・いじめを「しない・されない・ゆるさない」指導の徹底
 - ・不登校児童生徒の支援と未然防止（不登校ゼロをめざして）
- ウ 豊かで和やか人間関係の醸成（児童・生徒間、児童・生徒と教師間、対保護者間）
- エ 教育相談の充実**
- オ 適応指導教室の充実（専門員の配置）
- カ 家庭、地域、関係諸機関、団体等との連携（健全育成・安全安心確保）

③ 健康な身体を培う教育の推進

- ア 健康な身体、強い心と体力を培う学校体育の充実**
- ・健康づくりへの意欲と安全意識の高揚に努める指導の充実
 - ・健康診断の実施と事後指導の充実
 - ・運動部活動の充実（中学校）
- イ 体力・運動能力調査結果の効果的活用（肥満と裸眼視力の回復）
- ウ 食育の推進による望ましい食習慣、生活習慣の形成**
- エ 町学校保健委員会活動の充実

④ キャリア教育（進路指導）の充実

- ア 小・中学校におけるキャリア教育（進路指導）の年間計画の作成と実践**
- ・職場訪問、職場体験、体験入学等の啓発的体験的活動の充実
 - ・地域の人材資源等の活用
 - ・地域の人材バンクの作成と活用（地域支援センター）
- イ 各教科、道徳、特活と連携した指導の推進
- ウ 進路相談の計画的な実施
- エ 小学生の奄美交流学习、中学生海外派遣学習

⑤ 人権教育の推進

- ア 全体計画・指導計画の改善・充実と実践**
- イ 全教育活動を通しての人権尊重の精神の育成**
- ・人権啓発活動の推進（人権週間、人権作文等）
 - ・いじめを「しない、させない、ゆるさない」実践的教育

⑥ 福祉・環境教育の充実

- ア 全教育活動を通して福祉・環境教育の推進**
- イ 福祉、環境問題への具体的実践**
- ・ふるさと環境美化活動（5月30日、9月1日、夏休みの1日）
 - ・あいさつ運動
 - ・ボランティア活動の推進（地域の花植え、老人ホーム慰問等）
- ウ 地域資源の教育的活用（人的・物的・自然等）

⑦ 読書活動の推進

- ア 学校図書館の充実**
- ・蔵書量と読書人口の増加
- イ 「読書のすすめ」の実践**
- ・図書館司書の活用

- ・児童生徒の図書委員会の活動
- ・家庭における読書のすすめ

(4) 特色ある学校づくり

① 学校経営の充実

- ア 課題を明確にした、適切な教育課程の編成・実施・評価
 - ・教育内容、方法の多様化・弾力化
- イ 校長の理念の確立とリーダーシップ
 - ・校長・教頭の指導力の向上と職員の協力体制の確立
- ウ 地域に根ざした多様な教育活動の展開
 - ・地域資源の教育的活用（人的・物的・自然等）
 - ・家庭・地域との連携の強化 地域学習、環境教育、福祉教育等

(5) 小中一貫（連携）教育の推進

- ア 「みなかみ新教育プログラム」に基づく一貫（連携）教育の推進
- イ 小・中間、幼保子・小間の円滑な接続（中一ギャップ、小一プロブレムの解消）
 - ・行事等を活用した異校種間児童生徒の交流
 - ・小学校高学年の教科担任制
 - ・ALTを活用した英語教育・外国語活動の接続
 - ・教員の異校種間交流の推進
 - ・地区別推進委員会の充実
- ウ 小中学校9年間を見通した教育課程の研究（総合的な学習の時間、道徳、算数・数学、地域学習、福祉教育、キャリア教育等）
- エ 特別支援教育の充実（幼小中の連携）

(6) 特別支援教育の充実

- ア 乳幼児から成人期までの支援システムの確立と実践
 - ・就学指導の改善と充実（町就学指導委員会の充実）
 - ・特別支援学級の指導の充実
 - ・通常学級における指導の研究と改善
 - ・支援員の充実（量的・質的）
- イ 通級指導教室の充実
- ウ 幼保子・小・中の連携
- エ 町就学指導委員会の充実

(7) 幼稚園教育の充実

- ア 適切な教育課程の編成・実施・評価
- イ 「思いやりのある子」を育てる教育の充実
- ウ 幼稚園教諭の資質の向上
 - ・園内研修の充実
 - ・各種研修会への参加
- エ 保育園、小学校との連携
 - ・特別支援教育の推進
 - ・小1プロブレムの解消
- オ 町就学指導委員会との連携

2 教育環境の整備

(1) 環境整備

ア 安全・安心の確保

- ・教育施設設備等の安全確保
- ・スクールバスの安全確保、
- ・通学路の安全確保（交通・不審者・鳥獣）
- ・地域との連携
- ・校内生活での安心の確保

イ 防犯、防災など安全対策の充実

- ・防災計画および防災教育の見直し（火災、地震、山崩れ、水害等）
- ・自らの命は自らが守る教育（日常生活の中で）

(2) 国際理解・交流学习の推進（広い視野をもった人間の育成）

- ・中学生海外派遣事業への参加
- ・小学生奄美笠利町との交流事業への参加

(3) 教職員等の適正な人的配置

ア ALTの適切な配置（中学校英語教育、小学校英語活動、小中連携教育）

イ 特別支援教育支援員等の適切な配置

(4) 小中学校適正配置の検討

- ・水上地区、月夜野地区、全地区中学校

(5) 教育振興基本計画の策定

II 豊かなスタディ・チャンス

3 生涯学習の振興

(1) 生涯学習体制の整備・充実

- ① 「心豊かな町民」を目指しての生涯学習の推進
 - ア 生涯学習推進のための各種企画の創意工夫
 - ・講座，講習，現地研修，文化祭，講演会，諸大会等
 - イ 学習成果発表の場の提供 ・生涯学習大会，優秀選手表彰式等
- ② 生涯学習関連施設の活用
 - ア 町公民館，図書室，カルチャーセンター，歴史民俗資料館等
 - イ 体育関連施設（社会体育，学校体育）等
- ③ 生涯学習指導者の育成・確保
 - ア 人材バンクの整備と活用 指導者，学習ボランティア，コーディネータ
シニアリーダー，団塊世代の活用
- ④ 生涯学習に関する諸情報の提供 学習啓発の推進
- ⑤ 相談体制の充実
- ⑥ 各種施設や民間との広域的ネットワーク体制の構築

(2) 学習機会の拡充

- ① 各種町民教養講座、教室等の開催 公民館、カルチャーセンター等
 - ア 受講生の層の拡大への工夫
 - イ 他団体との連携
 - ウ 自主グループの育成への支援とアドバイス
- ② 四図書室の充実
 - ア 図書の充実
 - ・蔵書量の充実
 - ・町民のニーズへの対応
 - イ 読書推進活動
 - ・幅広い年齢層への対応
 - ・読書量，利用者の増大への工夫
 - ウ 広報活動
 - エ 図書室運営の改善・充実 町図書館検討委員会（仮称）の活動
 - オ 四室データベースの作成

4 社会教育の充実

(1) 社会教育諸条件の整備・充実

- ① 社会教育施設の利用促進
- ② 社会教育関係団体の育成・連携
 - ・子ども会育成会・婦人会・PTA 連絡協議会・スポーツ少年団・老人クラブ
 - ・体育協会・文化協会・スポーツ推進委員会・青少年育成推進連絡協議会等
- ③ 人権教育の充実
 - ア 人権学習 正しい認識形成と啓発
 - ・社会教育委員の研修・講演会・家庭教育学級での学習会
 - ・人権擁護委員会との連携・活動
 - イ 人権啓発活動
 - ・人権に関するポスターの募集・表彰

・小中学校における人権週間（人権学習）

(2) 青少年教育の充実

① 青少年育成活動の充実

ア 子ども会の育成

イ 青少年育成指導者の育成 月夜野キッズセンター

② 青少年活動の充実

ア 学校外活動（青少年育成事業）の推進

・放課後子ども教室 ・おもしろ科学教室

・奄美市笠利町交流事業 ・中学生海外派遣事業等

イ 地域行事参加による体験・交流

・かるた大会 ・地域清掃活動 ・子ども会スポーツ大会

・各地域行事 ・あいさつ運動

③ 子ども活動に関する諸事業の推進・充実

・ガールスカウト・スポーツ少年団

(3) 青少年健全育成

① 青少年健全育成団体相互の連携と協力 学社連携融合の推進

・みなかみ町健全育成会議の創設と諸活動

・通学路等安全安心確保のための地域協議会の創設と活動

・あいさつ運動と地域環境美化活動の展開

② 青少年健全育成活動の充実と非行防止

・パトロール・啓発活動

③ 有害環境浄化活動の推進

・携帯電話に関する問題の取り組み

・社会環境実態調査・たまり場調査の実施

・児童生徒の問題行動への予防

(4) 家庭教育・成人教育の充実

① 時期に応じた家庭教育の充実

・子育て講座（兼 町民福祉課子育てセミナー）

・基本的生活習慣の確立

② P T A活動の充実

・P T Aの連携活動

③ 自主活動への支援

・諸団体の活動 ・地域活動への参加

5 文化の振興

(1) 芸術文化活動の推進

① 文化施設の整備・充実

ア 歴史民俗資料館等 ・展示の方法、場所の検討

② 文化活動推進体制の充実

ア 外に向けて発信できる文化振興事業の支援

イ 町民とアーティストの交流による文化振興

ウ 文化活動に関する広報・啓発活動

③ 文化活動の促進

ア 各文化団体の活動計画の把握と促進

イ 地域文化の伝統継承の支援

- ウ 後継者不足の課題解決への研究（文化団体、NPO の育成支援）
- エ 町文化祭への参加と充実

(2) 文化財保護と普及活動

- ① 郷土愛の育成と次世代への継承
- ② 指定文化財整備の充実と保存活用の促進
- ③ 文化財調査・保護の実施
 - ・文化財調査委員会の活動の充実
 - ・名胡桃城趾保存計画書等の整備
- ④ 町内文化財の点検と文化財リストの作成
- ⑤ **文化財の展示施設等の検討と整備**
- ⑥ 文化財を生かした学習の推進と保存意識の啓発
 - ・小中学校の学習への利用促進

6 スポーツ活動の充実

(1) 指導体制の充実

- ① 指導体制の充実
 - ア スポーツ推進委員の有効活用
 - ・全町民生涯スポーツ推進のための計画的活動
 - イ 社会体育指導者の育成・活用
- ② スポーツ団体等の育成と指導者の養成
- ③ **スポーツマスタープランの策定**
- ④ スポーツ情報提供・相談体制の整備
- ⑤ スポーツ施設設備の整備充実

(2) スポーツ活動の充実

- ① **生涯スポーツ活動の振興**
 - ア 町民体育祭を核とするスポーツ振興
 - イ 総合型地域スポーツクラブ（月夜野クラブ）
 - ウ ニュースポーツ，軽スポーツの啓発・普及と活動
 - エ スポーツ企業との連携
- ② **競技スポーツの振興**
 - ア 優秀選手・指導者の表彰
 - イ 各種選手強化対策の推進
 - ウ 競技スポーツの指導者の育成
 - エ 体育協会の活動の充実
 - オ スポーツ企業との連携

3. 教育委員会会議・教育委員会の 活動状況

1 教育委員会会議・教育委員の活動状況

◎みなかみ町教育委員名簿

平成24年 4月 1日 現在

職名	氏名	委員就任日	役職就任日	任期
教育委員長	横田 園子	H21.11.26	H23.11.28	H25.11.25
委員長職務代理	渡部かつ江	H21.11.26	H23.11.28	H25.11.25
委員	木村 孝弘	H20.11.26		H24.11.25
委員	阿部 剛	H23.11.26		H27.11.25
教育長	牧野 堯彦	H18.11.26	H21.11.26	H26.11.25

平成24年11月26日 現在

職名	氏名	委員就任日	役職就任日	任期
教育委員長	渡部かつ江	H21.11.26	H24.11.26	H25.11.25
委員長職務代理	阿部 剛	H23.11.26	H24.11.26	H27.11.25
委員	根津 公安	H24.11.26		H28.11.25
委員	横田 園子	H21.11.26		H25.11.25
教育長	牧野 堯彦	H18.11.26	H21.11.26	H26.11.25

◎平成24年度教育委員会会議(定例会・臨時会)の開催状況

教育委員会の会議は原則6月、9月、11月、3月の年4回開催される定例会と必要に応じ開催される臨時会があり、以下のとおり開催し審議されました。

(平成24年4月～平成25年3月まで)

開催日	区分	議案・報告等
(平成24年) 5月30日	定例会	議案第 1 号 平成24年度みなかみ町一般会計予算6月補正予算について 議案第 2 号 みなかみ町公民館図書室規則の一部改正について 議案第 3 号 みなかみ町立幼稚園就園の保育料減免に関する

		<p>る規則の一部改正について 議案第 4 号 平成 24 年度準要保護認定について</p> <p>協議</p> <p>① 中学生海外派遣事業について ② 奄美市笠利町との交流事業について ③ 県民スポーツ祭オープニング大会の中止について ④ 学校訪問、教育委員会訪問における感想について ⑤ 中学統合関係について ⑥ 夏の節電について ⑦ 放射線関係の対応について（給食関係）</p>
7月12日	臨時会	<p>議案第 5 号 平成 25 年度使用教科用図書採択について</p> <p>協議</p> <p>① 藤原中統合の今後の進め方について ② 教育委員会会議資料の準備及び事前配布について ③ 教育特別委員会の設置について</p>
8月30日	定例会	<p>議案第 6 号 平成 24 年度みなかみ町一般会計予算 9 月補正予算について</p> <p>議案第 7 号 平成 24 年度準要保護認定について</p> <p>協議</p> <p>① 第 7 回みなかみ町町民体育祭について ② 藤原中統合に関する進捗状況と今後について ③ 奄美市との青少年交流事業の報告について ④ 中学校海外派遣事業の報告について ⑤ いじめの実態と対応について ⑥ 中学生体育における武道に関するみなかみ</p>

		町の取り組みについて ⑦ 管内学校の運動会出席の割り振りについて
9月24日	臨時会	議案第 8 号 みなかみ町水上地区の中学校統合の件 協議 ① みなかみ町スポーツ推進審議会について ② みなかみ町文化祭について ③ 「いじめ」のわが町の現状について ④ 生徒指導上の諸問題の現状について ⑤ 小・中学校運動会の時期について ⑥ 中学校部活動の実態について ⑦ 議会の教育環境特別委員会中間報告について ⑧ 中野区との交流について
10月1日	臨時会	議案第 9 号 平成24年度末利根沼田地区教職員人事に関する基本方針案の承認について
10月10日	臨時会	議案第10号 月夜野中学校に絡む一連の事案について 協議 ① 利根郡町村教育委員会連絡協議会開催について ② 市町村教育委員研究協議会開催について ③ 藤原中学校統合に関する現在の状況について
11月12日	臨時会	議案第11号 月夜野中学校におけるガラス破損の件について 議案第12号 管内児童・生徒の指定校変更について 協議 ① 市町村教育委員会研究協議会研修報告について

		② 部活動の今後の関係について ③ 中学校の時数確保の関係について
11月26日	定例会	議案第13号 みなかみ町教育委員会委員長の選挙について 議案第14号 みなかみ町教育委員会委員長職務代理者の指定について 議案第15号 平成24年度みなかみ町一般会計予算12月補正予算(案)について 議案第16号 平成24年度準要保護の認定について 協議 ① 教育環境の現状と課題について ② 学校統合の課題について
(平成25年) 2月25日	定例会	議案第17号 平成24年度みなかみ町一般会計予算3月補正予算(案)について 議案第18号 平成25年度みなかみ町一般会計予算(案)について 議案第19号 みなかみ町教育基金条例を廃止する条例について 議案第20号 平成25年度みなかみ町教育行政方針(案)について 協議 ① 月夜野中学校ガラス破損事件のまとめについて ② 藤原中学校の今後について ③ 小・中・幼・子ども園の卒業式、卒園式について ④ 小・中・幼・子ども園の入学式、入園式に

		について
3月18日	臨時会	議案第21号 平成24年度末教職員人事異動について 議案第22号 平成25年度奨学金認定について 議案第23号 旧幸知小学校の普通財産への移行について 議案第24号 平成25年度藤原中学校生の扱いと統合問題の方向性について 議案第25号 みなかみ町スポーツ推進計画（案）について 協議 ① みなかみ町教育委員会点検の評価報告書について ② 体罰の実態について ③ 平成25年度年度当初行事、教育委員会訪問、指導主事訪問について ④ その他

(平成24年4月～平成25年3月)

区分	回数	議案件数	協議回数	選挙回数	教育長事務報告
定例会	4	12	20	1	4
臨時会	6	15	21		

◎教育委員の活動

教育委員会は、定例会以外に各種研修会及び教育委員会主催の行事に参加しています。

また、各小中学校へも学校訪問をして教育環境の整備や体制づくりに努めています。

(平成24年4月～平成25年3月まで)

期 日	行 事 内 容
4月 2日	教職員辞令交付式
9日	小・中学校入学式
10日	利根商業高等学校入学式
12日	教育長・校長等合同研究協議会
13日	小・中学校教職員離退任式 体育協会総会
18日	婦人会総会
24日	利根郡小中学校教育研究会総会
26日	文化協会総会 教育委員会訪問
27日	郡市町村教育長協議会
5月 8日	中学校統合検討会
14日	郡体育協会総会 放課後子ども教室運営委員会
16日	中学校統合説明会
21日	みなかみ町青少年健全育成推進連絡協議会総会
22日	県市町村教育長人事会議
23日	社会教育委員委嘱式・会議
24日	郡教育長会議
29日	県史跡整備市町村協議会総会
30日	教育委員会(定例会) 特支教育連絡協議会
6月 4日	教育委員会訪問
15日	小学生総体・ホッケー大会
19日	郡教育委員会連絡協議会総会
26日	郡市町村教育長協議会
27日	利根沼田学警連役員会・総会 郡へき地教育計画検討会
29日	県へき地教育振興会総会
7月 3日	県町村教育長研修会
9日	利根沼田市町村懇談会

	12日	教育委員会(臨時)
	13日	県教育長人事会議
	19日	郡市町村教育長協議会
	20日	全国高原サミットみなかみ町実行委員会
	23日	アドベンチャースポーツ安全と環境調査実行委員会
8月	3日	郡小学校体育実技講習会
	24日	少年の主張利根沼田大会
	26日	藤原湖マラソン大会
	30日	教育委員会(定例会)
9月	8日	小学校運動会(古馬牧小・桃野小・月北小・水上小・新治小)
	14日	藤原小・中学校運動会
	15日	中学校運動会(月夜野中・新治中・水上中)
	24日	教育委員会(臨時)
	27日	全国高原サミット実行委員会
	29日	月夜野幼稚園・下牧分園・にいはるこども園運動会
	30日	町民体育祭
10月	1日	教育委員会(臨時)
	3日	郡市町村教育長人事会議
	4日	みなかみ町戦没者追悼式及び平和式典
	5日	教職員人事に関する教育長校長合同協議会
	10日	教育委員会(臨時)
	16日	利根沼田小学校陸上記録会 学警連役員会
	23日	中学生海外派遣帰国報告会
	24日	利根郡町村教育委員連絡協議会
	25日	市町村教育委員会研究協議会
	30日	にいはるこども園訪問
11月	3日	みなかみ町文化祭開会式
	5日	県市町村教育長人事会議
	7日	就学指導委員会
	8日	郡小中学校音楽祭
	12日	教育委員会(臨時)
	14日	就学指導委員会
	18日	利根沼田人権作文表彰式
	22日	三国会授業研究会
	23日	利根沼田柔剣道大会
	25日	みなかみ町生涯学習大会

26日	教育委員会(定例会)
27日	藤原地区統合検討委員会
12月 6日	放課後子ども教室町内研修会
7日	郡教育委員会連絡協議会
19日	青少年行政に係る意見交換会
27日	通学路緊急点検会議
1月 7日	郡市町村教育長人事会議
10日	県教育委員長・教育長合同研修会
13日	みなかみ町成人式
16日	婦人会新年会
17日	学校警察連絡協議会
23日	就学指導委員会
25日	教育論文・実践記録審査会
31日	町内小中学校スキー大会
2月 9日	奄美市笠利町交流会歓迎会
13日	郡市町村教育長協議会
18日	全国源流サミット実行委員会
19日	福祉教育推進事業協力校連絡協議会
20日	学校訪問(桃野小学校)
22日	学校訪問(水上小学校・月夜野中学校)
25日	教育委員会(定例会)
27日	へき地教育センター研究発表会
3月 1日	利根商業高等学校卒業式
13日	中学校卒業式
18日	教育委員会(臨時)
19日	特別支援教室連絡協議会 放課後子ども教室運営委員会
21日	にいはるこども園卒園式
22日	月夜野幼稚園卒園式
23日	わかくりこども園卒園式
25日	小中学校卒業式

4. 教育委員会各事業

総務・学校グループ

施策マネジメントシート(平成24年度の振り返り、総括)

作成日 平成 25 年 6 月 28 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 教育課 課長 岡田 宏一
施策	26	学校教育の充実	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町内の児童生徒	①豊かな心と高い知性、健康な身体をもとに活力ある人間に育つ。	1 教育水準の向上	町内の児童生徒	質の高い、きめ細かな教育を受けられる。
			2 教育内容の充実	町内の児童生徒	内容の充実した教育を受けられる。
			3 教育環境の充実	町内の児童生徒	安全な環境で安心して学ぶことができる。
			4		
			5		

成果指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
成果指標	A 学力テストの結果(児童/生徒)	%	実績値	81/81	80/80					
			目標値		81/81	81/81	81/81	81/81	81/81	
	B 体力テストの結果(児童/生徒)	ポイント	実績値	50/50	50/50					
			目標値		50/50	50/50	50/50	50/50	50/50	
	C 学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	%	実績値	92/87	90/90					
			目標値		92/87	92/87	92/87	92/87	92/87	
D 不登校児童生徒数	人	実績値	18	12						
		目標値		10	10	10	10	10		
E		実績値								
F		実績値								

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 結果がよければ、高い知性が育まれていると考えられるため成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため信憑性が高い。小2～中3まで、1学期期間中に全員対象で実施するNRTテストで、学習到達度5段階中3以上(概ね学習内容を理解している)の児童(生徒)の数/児童(生徒)を百分率で表記したもの。

B) 結果がよければ、健康な身体が育まれていると考えられるため、成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため比較しやすい。全学年を対象に1学期期間に実施している新体力スポーツテストで、全国の標準を50ポイントとし、全国比で表わす。

C) 数値が高まれば、豊かな心・高い知性・健康な身体が育まれ健全に成長していると考えられるため成果指標とした。学校評価のアンケートに設問を設けて把握する。各校で実施している調査の年平均を合算して平均する。

D) 数値が低ければ、豊かな心・高い知性・健康な身体が育まれていると考えられるため成果指標とした。担当課で実数を把握「児童生徒の問題行動等に関する月例報告書」による

目標値設定の考え方

A) 児童生徒数の減少により、学校や学級の適正規模の維持が困難となり、学力の低下も見込まれる。成り行きでは緩やかに低下傾向にあり、向上のための対策が必要である。補助教員や支援員・介助員の拡充、町独自の指導主事の設置など、他団体と比較して水準が高いため、更に成果を上昇させるにはより一層の取り組みが必要。よって、児童・生徒の学力は、現状の81%を維持することを目標とする(ワンポイントアップ作戦)。

B) 学校統合に伴いスクールバスを導入したことで、これまで徒歩通学であった児童・生徒(新治小・水上小)の体力の低下が懸念される。体力づくりでは、管内小中学校がそれぞれ特色有る取り組みを進めており、利根沼田地区の駅伝大会などでは、みなかみ町が上位を占めている。家庭での体力づくりは、環境によって異なるため、学校での取り組みを強化するなど、全体的な体力向上を図り、現状維持(平均値である50)を目指す。

C) 学校が楽しいと感じている児童・生徒の割合は、平成23年度において高い水準にある。今後、児童生徒数が減少し学校や学級の適正規模を維持できなくなることを考えると、割合は低下すると予想される。小学校では嘱託職員(若い教員)をほぼ全校に配置しているため、成り行き値は急激には下がらない。平成23年度実績を維持することを目標とする。

D) 学校生活での人間関係や学習意欲・家庭環境など、不登校傾向につながる要因は多岐にわたるため、今後も、学校・家庭・関係機関が連携して、不登校児童生徒を増やさない取り組みを強化していく必要がある。児童生徒数は減少する見込みで成り行きでも絶対数は減少。平成25年度は10人以下を目標としており、毎年度10人以下を達成させたい。

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 <家庭・保護者> ①家庭では子ども達の心身の健康を育み、基本的な生活習慣や善悪の判断等規範意識の基礎をつくる。 ②保護者としての自覚を持ち、社会的な義務を果たす。 <地域住民> ①「地域の子どもは地域で育てる」という意識をもち、子ども達が安心して活動できる地域づくりを進める。 ②地域の人材として学校現場へ積極的に関わるなど、教育活動へ協力する。	2. 行政(町、県、国)の役割 ①教育の基本方針を策定する。 ②児童生徒の個に応じた教育環境をつくる。 ③児童生徒が安心して学習できる安全な環境をつくる。 ④教員の教育力や資質の向上を図る。
---------------	---	---

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか? ①教育委員会制度の在り方が審議されている。 ②インクルーシブ教育の導入が議論されている。 ③今後、児童・生徒が極端に減少することが予想される。	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか? ①教育施設の整備について、不平不満は聞こえてこない。 ②教職員の配置について、環境が恵まれていることを理解していない保護者が多いように感じられる。 ③小中学校の統廃合について、積極的な意見と消極的な意見が聞こえてくる。 ④いじめ、不登校、学校統合については、すでに議会でも一般質問されており、関心の高さがうかがえる。
-----------	---	--

施策	26	学校教育の充実	主管課	名称 教育課
				課長 岡田 宏一

実績比較		背景・要因	
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>①学力テストの結果では、児童・生徒ともに3以上の割合が80%であり、昨年度とほぼ同じ結果となった。しかし、学校別・クラス別にはバラツキはある。学校によっては1学年1人というクラスもあり、振れ幅が大きい(少人数学校の影響が大きくなる)。また、学校間格差が顕著になりつつある。</p> <p>②体力テストでは昨年度と全体の水準は変わらないが、地区別でみると新治地区が低下している。学校統合に伴うスクールバスの導入も要因の一つではないかと思われる。</p> <p>③学校が楽しいと感じている児童は、昨年度に比べて2ポイント減少し90%であるが、中学生は87%から90%に上昇し、引き続き高い水準を維持している。50人未満の小規模校になるほど楽しいと感じる児童生徒の割合が高くなる傾向にあるが、少なすぎても問題が発生しやすくなる。</p> <p>④不登校児童生徒(30日以上欠席)の数は12人と昨年度より6人減少した。適応指導教室の開設と併せて、各学校の教職員による家庭訪問の実施やスクールカウンセラーの活用によって、不登校児童生徒は新たに発生していない。</p>
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	<p>①偏差値でみるとみなかみ町は52である。平成16年度頃から少人数指導体制などの県独自の取り組みを実施するとともに、平成23年度から町独自の教育補助員事業を導入したことにより、県の平成22年度実績：小学校50・中学校51よりも高く、関東地方の中でも比較的高い水準にある。</p> <p>②体力テストの結果は、朝活動など各学校の取り組みにより、全国平均値を50とした場合の同水準にある。しかし、全国的に子どもの体力は低下する傾向にある。</p> <p>③学校を楽しいと感じている子どもの割合は90%と高い水準にある。</p> <p>④不登校児童生徒の割合は、平成23年度の実績で全国1.5%、県1.06%であり、本町は1.01%であったが、平成24年度では0.79%となっており成果が上がっている。</p>
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	<p>①学力テストの結果では、児童・生徒ともに3以上の割合が80%であり、目標値の81%とほぼ同じ結果となった。</p> <p>②体力テストの全体の水準は目標値を達成することができた。</p> <p>③学校が楽しいと感じている児童は、目標値と比べて2ポイント減少し90%であるが、中学生の目標値87%と比べて3ポイント増加して90%となっており、児童生徒ともに90%と高い水準を維持している。</p> <p>④不登校児童生徒(30日以上欠席)の数は12人と昨年度の18人より6人減少したが、目標値と比べて2ポイント高く目標値には達していない。</p>
成果実績に対する総括	<p><教育水準の向上>①県費教職員人事に関する事務事業は、県教育事務所と協議を行い定数を超える教職員数を配置(特配)した。②教育補助員事業:町職員2名、補助教員兼支援員(臨時職員)8名、支援員(臨時)1名、介助員1名、計12名を配置し、支援を必要とする児童生徒に対応。④小学校の英語教育の必修化に伴い、ALTを4名配置し訪問指導回数を増加。</p> <p><教育内容の充実>①教育委員会事業:教育委員が指導主事と一緒に各校の授業参観、学校訪問を行い、助言をすることが各校の教育活動の充実に結びついている。②みなかみ町は町費で指導主事を配置。各校の相談に対して指導主事を派遣して対応した。③三国会(みなかみ町小中学校教育研究会)研究事業:授業研究会において、利根教育事務所・指導主事の指導助言を受けながら、基礎基本を定着させる授業のための研修を行った。④中学生海外派遣事業:中学2年生20名がタイ王国チェンマイ・バンコクのラジャハット大学附属中学校・英語スクールやJICAバンコク事務所、在タイ日本国大使館を訪問し、海外の中学生との交流活動や東南アジアにおける日本の役割などについて研修を行った。</p> <p><教育環境の充実>①藤原小学校のオイルタンクの入れ替えをはじめ、各学校施設の修繕を行った。②新治小中学校区で、学校を中心に地域の子どもの安全を確保し、かつ健全に育成することを目的とした「新治地区子ども安心安全・育成協議会」が組織され、児童生徒の登下校を地域で見守る「見守り協力員」や、緊急時に子ども達が避難できる「子ども110番の家」活動が本格的に開始された。月夜野地区に「子ども安心安全・育成協議会」設立準備会が設立された。③小中学校において、保護者に緊急時の連絡や学校行事の定期的な連絡を円滑に行うための「緊急携帯メールシステム」を導入、台風等の災害時の緊急連絡、獣害情報・不審者情報の伝達や中体連などの大会参加による登下校時間の変更連絡など幅広く活用している。</p>		

	基本事業名	今後の課題	平成26年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1 教育水準の向上	<p>質の高い、きめ細かな教育を実践するためには、特別支援教育に携わる補助教員や支援員・介助員の拡充だけでなく、一般の教職員の特別支援教育に対する専門性を向上させる必要がある。</p> <p>少子化の動向を踏まえ、適正規模を考慮した学校の再配置を進める必要があるが、保護者や地域住民の理解が得られず、具体的な調整を進められないのが現状である。</p>	<p>インクルーシブ教育システムの導入を視野に入れながら、発達障害のある児童生徒への支援を充実させるために、教職員に発達障害に関する正しい理解を図るとともに、発達障害に関する専門的・実践的な知識を有する教職員を育成するための事業を実施する。</p> <p>保護者や地域住民の理解を得られるよう、引き続き、少子化の動向を踏まえ、適正規模を考慮した学校の再配置の必要性を訴えていく。</p>
	2 教育内容の充実	<p>内容の充実した教育を実践するためには、基礎・基本を定着させる授業や自ら学ぶ意欲を育む授業が求められており、教職員がより良い授業を行うための研究授業や研修を充実させる必要がある。</p> <p>体力の低下が懸念されており、体力づくりに係わる各学校での取り組みが必要である。</p> <p>基本的な生活習慣が身に付いていない児童生徒が増えており、より一層の家庭との連携が必要となっている。</p>	<p>基礎・基本を定着させる授業や自ら学ぶ意欲を育む授業を実践するため、みなかみ町教育研究会(三国会)が実施する教職員の研究授業や研修を充実させる。</p> <p>朝活動や放課後活動など、体力づくりに係わる各学校での取り組みを充実させる。</p> <p>家庭や地域との連携を図りながら、子ども達の心身の健康を育み、基本的な生活習慣や善悪の判断等規範意識の基礎をつくる。</p>
	3 教育環境の充実	<p>「地域で児童生徒を見守る」活動は、地域毎に、あるいは学校毎にその取り組み方や姿勢に温度差があるのが現状である。</p> <p>管内小中学校の多くの施設が老朽化しており、計画的な修繕や改修が必要となってきている。</p> <p>管内小中学校の情報機器が老朽化しており、サポート期間が終了するOSを搭載しているパソコンが多いなど、計画的な入れ替えが必要となっている。</p>	<p>新治地区の「子ども安心安全・育成協議会」の活動をモデルとして、他の地域においても「地域で児童生徒を見守る」活動を推進する。月夜野地区・水上地区の小中学校を対象に「子ども安心安全・育成協議会」を組織するとともに、「子ども110番の家」や「見守り隊」などの具体的な活動へと結びつけていく。</p> <p>平成25年度を初年度として、概ね5カ年を目途に、管内小中学校の修繕と情報機器を入れ替える。</p>

26 学校教育の充実

31-01-000001				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 450,000円					
小中学校教育研究会(三国会)事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費			
事業概要	対象	みなかみ町立小学校・中学校の教員及び児童・生徒		意図	教員の指導力向上及び児童・生徒の学力向上を目指す。				手段	運営委員会、総会、水泳記録会、授業研究会、スキー大会、研修紀要発行、学力向上部会、生徒指導部会、特別支援教育部会			
	児童【小】(小は学力検査を行えないため調査対象外)	平成23年度	平成24年度		単位	基礎学力・体力が身に付いている児童・生徒の割合【小】	平成23年度	平成24年度		単位	みなかみ町立小学校	平成23年度	平成24年度
			846	850	人		81	80	%		6	6	校
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×		
	全体総括		みなかみ町の小中学校児童生徒の学力・体力は概ね良好な状況を維持しており、三国会事業の成果が表れていると考える。		今後の改革改善案		授業研究会では、利根教育事務所指導主事にも指導助言をお願いして、町指導主事の負担を減らすとともに、町内教員の資質・能力の向上を図る。		課題とその解決策		小学校6校・中学校4校ある町の規模からみて、町指導主事の数が不足している。そこで、各部会における校長先生のリーダーシップがより発揮されるようにしたり、指導的な立場となる教諭を育成したりする必要がある。		

31-01-000004				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 円					
県費負担教職員の人事に関する事務事業				予算科目 会計		款		項		目			
事業概要	対象	教職員		意図	教職員の適正な人事管理に結びつく				手段	教職員人事異動の内申を行う。常勤、非常勤講師の内申を行う。教職員の病休、産休、育休、介護休暇等各種届け出書事務			
	教職員人事に関する取り扱い件数	平成23年度	平成24年度		単位	異動した教職員の割合	平成23年度	平成24年度		単位	教職員	平成23年度	平成24年度
			132	130	件		39	39	%		156	153	人
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×		
	全体総括		利根教育事務所を中心に教職員総数の枠の決まっている中での人事異動で、みなかみ町の思惑とおりには事が運ばない。		今後の改革改善案		事務の効率的な執行に努める。		課題とその解決策		充実した事業を行うためには各学校の実情の把握をし、学校の事務処理の統一化やコンピューターの活用等により効率化を進めなければならない。		

31-01-000006				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 円					
県費負担教職員の服務に関する事務事業				予算科目 会計		款		項		目			
事業概要	対象	県費負担教職員を対象とする。		意図	非違行為(交通違反・事故を含む)を0にする。				手段	管理職を通じた常時指導並びに学校訪問時における指導。			
	県費負担教職員	平成23年度	平成24年度		単位	非違行為(交通違反・事故含む)	平成23年度	平成24年度		単位	小学校	平成23年度	平成24年度
			179	173	人		1	0	件		6	6	校
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×		
	全体総括		根拠法令に照らして、今後も継続する必要がある。		今後の改革改善案		町として新規に管理主事を設定して、よりの確な指導を繰り返していく。		課題とその解決策		事務局に在籍する県費負担教職員出身者(指導主事)は1名だが、対象県費負担教職員は170名程度と数が多い。		

26 学校教育の充実

31-01-000007		担当組織 教育課 総務・学校グループ			事業費		円						
教育課程等指導に関する事務事業		予算科目 会計			款			項					
事業概要	対象	県費負担教職員並びに町費負担教職員。			意図			適正な教育課程の実施。教職員の指導力の向上。					
	県費負担教職員	平成23年度	平成24年度	単位	基礎学力・体力が身に付いている児童・生徒の割合【小】	平成23年度	平成24年度	単位	手段	管理職を通じた常時指導。学校訪問時における指導。			
		179	173	人		81	80	%	小学校	平成23年度	平成24年度	単位	
										6	6	校	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	成果 向上 ○ 維持 ○ 低下 ×	削減 ○ 維持 × 増加 ×	
	全体総括	町として成果をあげている分野であるが、指導主事が一名しかいないことから、今後も利根教育事務所の指導主事を活用する。			今後の改革改善案			利根教育事務所の指導主事を一層活用する。			課題とその解決策		
											事務局に在籍する県費負担教職員出身者(指導主事)は1名だが、対象教職員は200名程度おり数が多い。		

31-02-000001		担当組織 教育課 総務・学校グループ			事業費		1,307,744円						
教育委員会運営事業		予算科目 会計 一般会計			款 10教育費			項 1教育総務費			目 1教育委員会費		
事業概要	対象	教育委員			意図			教育委員及び委員会の充実、資質向上			手段		
	委員数	平成23年度	平成24年度	単位	教育委員会の実施率	平成23年度	平成24年度	単位	開催回数	平成23年度	平成24年度	単位	
		4	4	人		100	100	%	6	6	回		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	成果 向上 ○ 維持 ○ 低下 ×	削減 ○ 維持 × 増加 ×	
	全体総括	教育委員会は、教育、文化、スポーツ等に関する事務を処理しています。近年、住民の教育行政に対するニーズが多様化し、学校、地域が一体となって取り組んでいくことが必要であることから、積極的に対応した施策を展開していくことが求められる。			今後の改革改善案			今後も教育環境の整備と充実を目指し、子どもたちや町民一人一人がより良い環境の中で学校教育及び生涯学習をとおして、知力、体力、心力の向上に努める。			課題とその解決策		
											教育委員会の意向を反映していくためには、教育委員が地域住民の意向を把握することが重要であり、把握のための工夫や、学校教育機関へ訪問し状況を把握したり、PTAや学校関係以外の団体等意見交換も必要。		

31-02-000002		担当組織 教育課 総務・学校グループ			事業費		1,557,298円						
就学指導事業		予算科目 会計 一般会計			款 10教育費			項 1教育総務費			目 2事務局費		
事業概要	対象	町内の児童・生徒及び保護者			意図			子どもの状況に応じて、通常学級・特別支援学級・特別支援学校に適切に就学できるようにする。			手段		
	就学指導委員会該当新就学児童	平成23年度	平成24年度	単位	就学指導委員会審議結果に沿った就学状況【新就学】	平成23年度	平成24年度	単位	町内幼稚園・保育所	平成23年度	平成24年度	単位	
		18	30	人		89	90	%	7	7	園		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	成果 向上 ○ 維持 ○ 低下 ×	削減 ○ 維持 × 増加 ×	
	全体総括	みなかみ町の就学指導については、利根沼田地区はもちろんのこと、群馬県全域においても先進的・先導的な取組をしている。今後とも、一人一人の子どもを尊重する視点から充実させていく必要がある。			今後の改革改善案			就学指導に関して教育委員会事務局側からのアプローチだけでなく、保護者側から相談する機会をもつ。			課題とその解決策		
											保護者からの就学相談を受ける人材を育成する必要がある。		

26 学校教育の充実

31-02-000003				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 64,000円				
自然学習教室補助事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費		
事業概要	対象	小学校			意図	自然に関する知識、興味を持つ			手段	学校が実施した、昆虫の森等で行う課外活動へ補助金を支給する		
	学校数	平成23年度	平成24年度	単位		参加した児童の割合	平成23年度	平成24年度		単位	参加学校数	平成23年度
		6	6	校		100	100	%		2	3	校
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト	
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × ×	
	事業の成果がどの程度あったかをアンケートなどで把握が必要となる。補助金の減額から自己負担が増額しているため、参加校も少なくなっている。実施校が少数なら、町バスやスクールバス等の公用車の利用が検討可能だが、児童保護者の自己負担を減らしたことで、実施校が増えたと逆に公用車の利用が困難になってくるので、対応が難しくなる。このような点から、県の補助金を使用し、民間バスを利用することが公平性があり、保護者負担も少しは軽減できるため今の流れで良いのではないかと。			今後の改革改善案 県補助金があり、実施希望校があるので現状維持する。			課題とその解決策 この事業は県補助金の交付決定を受けることで少しでも学校・保護者の負担を減らすことを目的としている。町からの加算補助金がなく、県の単価が毎年変わるので歳出の変動が多い。					

31-02-000004				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 143,190円				
卒業記念品事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費		
事業概要	対象	児童・生徒 (小学校6年・中学校3年)			意図	ホルダーを利用し記念に永く残してもらおう。			手段	町内各小・中学校の卒業生に対して卒業生に証書ホルダーを贈呈 143,190円(387冊×370円)・実績		
	児童・生徒	平成23年度	平成24年度	単位		卒業生数	平成23年度	平成24年度		単位	記念品数	平成23年度
		406	387	人		406	387	人		415	387	冊
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト	
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × ×	
	町が卒業生に対して贈る、敬意を表すの品であるため、お祝いとしての記念品は今後も必要である。卒業証書を大切に保管するという、物の大切さを伝えられる。			今後の改革改善案 物品の大幅な値上げや学校からの変更意見等なければ、今後も従来通り記念品としてホルダーを贈呈。			課題とその解決策 現状各学校より問題となる事項、又変更も伝えられていない。今後も各学校の意見を反映させて継続、細かな問題点は業者に連絡。					

31-02-000005				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 27,075,388円				
教育補助員事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費		
事業概要	対象	管内小・中学校在籍している支援を必要とする児童生徒及び小学校			意図	小・中学校で生活介助及び学習支援を必要とする児童生徒が充実した学校生活を送ることが出来る。			手段	就学時健診や各園・各小学校からの情報に基づく就学指導委員会の開催。学校・教育委員会・町長部局の連携による特別支援教育連携協議会及び各専門部会の開催。		
	支援を必要とする児童生徒数	平成23年度	平成24年度	単位		学校が楽しいと感じる児童	平成23年度	平成24年度		単位	就学指導委員会の開催数	平成23年度
		75	75	人		92	90	%		4	4	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト	
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × ×	
	小学校には以前から補助員が3名配置されておりましたが、平成20年度より町負担の職員が支援員として4名配置され配置校よりの評価により翌年度から支援員の配置希望が各校より出されていることから適切と思う。			今後の改革改善案 小中学校の児童・生徒数の減少や、支援の必要な児童・生徒の内容に応じて、適正な配置を行う必要がある。			課題とその解決策 補助教員と担当教諭とのより綿密な連携が必要であり、目標の実現に向けて、より効果的な補助教員の活用が求められる。					

26 学校教育の充実

31-02-000006 尾瀬学校事業				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 1,230,000円					
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 1教育総務費				目 2事務局費					
事業概要	対象	小中学校			意図	県内の尾瀬国立公園で環境保護に関する興味や知識を持つ			手段	尾瀬学校実施希望学校の環境教育の実施			
	学校数	平成23年度	平成24年度	単位		環境保護への関心を示した割合	平成23年度	平成24年度		単位	参加学校数	平成23年度	平成24年度
			10	10	校		93.5	64	%		5	5	校
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		
	全体総括		事業の成果がどの程度あったかをアンケートなどで把握が必要。また、小規模校が参加する場合、バス等も空きがあったり、何度も行く児童生徒がでてるが、県の補助により実施できるので、学校独自で参加できる。			今後の改革改善案		実施する学年を町で作ることで、公平性ができると思うが、実施後既に3年経過しているため、いまからの調整が困難だと思われる。また、小規模校での学年指定は難しい。		課題とその解決策		学校の負担がほとんどなく、事業が実施できるため、事業を実施するべき。学校が連絡もなしに人数が増えたり、費用が増えたりするため、各学校への事業や予算の周知が必要。	

31-02-000007 文化活動派遣費補助事業				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 245,028円					
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 1教育総務費				目 2事務局費					
事業概要	対象	小中学校児童、先生、引率者			意図	文化活動、自然体験に関心を持つこと			手段	音楽祭、コンクール、昆虫の森自然学校、社会科見学			
	小中学校生徒数	平成23年度	平成24年度	単位		文化、体験に関心を持った割合	平成23年度	平成24年度		単位	補助件数	平成23年度	平成24年度
			1,607	1,508	人		0	100	%		0	3	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		
	全体総括		22年度は21年度のような極端に申請が少ないと言う状況にはならなかった。また、音楽会などの成績により突発的なバスの借上が必要になる場合がある。			今後の改革改善案		現状の規模と水準を維持していく。		課題とその解決策		範囲と対象は公平にしてきた。現状の規模と水準を維持していく。	

31-02-000008 運動選手派遣費補助事業				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 2,172,015円					
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 1教育総務費				目 2事務局費					
事業概要	対象	町内小学校児童・中学校生徒・引率・コーチ			意図	運動部活の活性化。県大会、全国大会等へ児童生徒が積極的に参加できる			手段	県大会以上の運動大会出場選手等へ派遣費補助を行う			
	小中学校児童数	平成23年度	平成24年度	単位		出場した選手の数	平成23年度	平成24年度		単位	補助件数	平成23年度	平成24年度
			1,606	1,508	人		139	130	人		14	14	校
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		
	全体総括		補助金額の上限を設けていないため、予算が立てにくい。			今後の改革改善案		補助金額の上限を設けるかどうか、検討が必要。		課題とその解決策		小学生スキー総合大会が学校行事として位置づけられていたため、補助交付をしていたが、今後、学校行事としての位置づけが難しくなった場合、補助金交付対象事業として今までどおり扱ってよいのかどうか課題となる。	

26 学校教育の充実

31-02-000009				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 19,651,312円				
外国語指導助手(ALT)事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費		
事業概要	対象	中学生・小学生		意図	英語に慣れ親しみ異文化を理解する				手段	中学校に配置し、英語担当教諭とチームティーチングによる英語指導を実施小学校へも定期的に訪問し、ゲーム等で英語に興味を持たせる		
		平成23年度	平成24年度		単位	英語に慣れ親しんだ児童生徒数	平成23年度	平成24年度		単位	外国語指導助手数	平成23年度
		614	592	人		1,615	1,507	人		4	4	人
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	語学力の向上および国際理解推進のために、外国語指導助手がチームティーチングで授業に入ることや小学校訪問指導を行うことは大変有効である。				今後の改革改善案 管内の学校での指導が平等化され、新学習指導要領にある年間30時間授業を小学校で実施できるようになったが、学校によってALTの活用状況に差があるので、教頭会等で現状把握をし、ALTの有効活用に努めたい。				課題とその解決策 外国語指導助手に新学習指導要領により英語授業の状況が変わっていることを理解してもらい、自国の生活習慣等を授業に取り入れるよう伝える。各校の英語担当者に協力をしてもらいコミュニケーションをとり、教職員だけが忙しく勤務するのではなくALTと一緒に活動させる。		

31-02-000011				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 4,003,559円				
中学生海外派遣事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費		
事業概要	対象	みなかみ町立中学校に在籍する2年生		意図	外国の文化や教育に触れ、体験することで新たな発見を見いだす。				手段	中学生海外派遣事業の内容を充実させるための推進委員会を開催。有意義な派遣事業となるよう派遣先の文化や歴史・経済情勢についての事前学習会を開催。		
		平成23年度	平成24年度		単位	報告記及び報告会による満足度	平成23年度	平成24年度		単位	推進委員会の開催	平成23年度
		203	195	人		100	100	%		1	1	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	応募者は女子が多く男子の参加数が少ないので、募集だけでは男女比が偏ってしまう。英語力アップと国内、国外への興味を持つきっかけとなり、何事にもやる気を持つようになる。				今後の改革改善案 中学校の規模によって参加人数を検討しなければならない。自己負担割合の検討を要する。				課題とその解決策 教育委員会は将来を担う中学生に海外派遣や学校訪問、施設見学をおし交流を深め異文化に触れることで自分の住んでいる町のことを再確認し、勉強をして「海外派遣に参加しよう」とする目標と意欲を持つことができるので、実行したいと考えているが、財政のことを考えると少人数から実行することが良いことなのか検討を要する。		

31-02-000013				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 円				
特別支援教育推進事業				予算科目 会計		款		項		目		
事業概要	対象	町内の3歳以上の園児・小中学校児童生徒及び保護者		意図	子どもの状況に応じて、適切な指導を実施して基礎学力を習得できるようにする。				手段	就学指導委員会、知能検査、保護者への就学指導、県教委や保健福祉事務所等関係機関との連絡調整、支援ファイル作成、研修・講演会の実施		
		平成23年度	平成24年度		単位	基礎学力が身に付いている児童・生徒の割合【小】	平成23年度	平成24年度		単位	町内幼稚園・保育所	平成23年度
		351	342	人		81	80	%		7	7	園
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	みなかみ町の特別支援教育体制については、利根沼田地区はもちろんのこと、群馬県全域においても先進的・先導的な取組をしている。今後とも、一人一人の子どもを尊重する視点から充実させていく必要がある。				今後の改革改善案 通級指導教室の増設・特別支援学級の新設、増設を実施した。				課題とその解決策 指導主事1名で2,000人もの園児・児童・生徒の状況を把握することは難しい。そこで、管内の通級指導教室担当者や特別支援教育コーディネーターを活用する必要がある。		

26 学校教育の充実

31-02-000014				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 53,280円				
学校経営研究・研修事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費		
事業概要	対象	校長・教頭		意図	職能の向上			手段	校長研修・教頭研修・情報交換			
		小中学校校長	平成23年度 9		平成24年度 9	単位 人	平成23年度		平成24年度	単位	小中学校数	平成23年度 10
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		今後の改革改善案 法令外負担金のため、事実上、町は事業に関与していない。		今後の改革改善案 事務手続きの継続のみ。			課題とその解決策 特になし。		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×		
	法令外負担金のため、事実上、町は事業に関与していない。		今後の改革改善案 事務手続きの継続のみ。			課題とその解決策 特になし。		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×				

31-02-000015				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 342,010円				
学校教育研究・研修事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費		
事業概要	対象	町内県費負担教職員、音楽祭参加児童生徒		意図	指導力向上・音楽的な資質、能力向上			手段	教員研修、利根郡小中学校児童生徒音楽祭			
		県費負担教職員	平成23年度 179		平成24年度 173	単位 人	基礎学力・体力が身に付いている児童・生徒の割合【小】		平成23年度 81	平成24年度 80	単位 %	町内小学校
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		今後の改革改善案 法令外負担金のため、事実上、町は事業に直接的には関与していないが、町の各行事に対する支援や郡の小中学校音楽祭の実施、また、教職員の研修の充実と効果は確実に表れている。		今後の改革改善案 事務手続きの継続のみ。			課題とその解決策 特になし。		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×		
	法令外負担金のため、事実上、町は事業に直接的には関与していないが、町の各行事に対する支援や郡の小中学校音楽祭の実施、また、教職員の研修の充実と効果は確実に表れている。		今後の改革改善案 事務手続きの継続のみ。			課題とその解決策 特になし。		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×				

31-02-000016				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 11,500円				
高等学校定時制教育振興事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費		
事業概要	対象	沼田高校定時制生徒		意図	定時制教育による高校教育の習得			手段	定時制教育の趣旨徹底、就学の奨励、施設の充実と改善の促進			
		沼田高校定時制生徒	平成23年度 8		平成24年度 5	単位 人	平成23年度		平成24年度	単位	沼田高校定時制	平成23年度 1
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		今後の改革改善案 法令外負担金のため、事実上、町は事業に関与していない。		今後の改革改善案 事務手続きの継続のみ。			課題とその解決策 特になし。		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×		
	法令外負担金のため、事実上、町は事業に関与していない。		今後の改革改善案 事務手続きの継続のみ。			課題とその解決策 特になし。		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×				

26 学校教育の充実

31-02-000017 児童生徒非行防止・健全育成事業				担当組織 教育課 総務・学校グループ			事業費 28,500円				
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 1教育総務費		目 2事務局費					
事業概要	対象	みなかみ町児童生徒		意図	健全な成長。			手段	街頭補導、補導委員会、有料児童生徒の表彰		
		町内小学校児童	平成23年度 991 平成24年度 917 単位 人			学校を楽しんでいる児童の数	平成23年度 95 平成24年度 90 単位 %			町内小学校	平成23年度 6 平成24年度 6 単位 校
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		今後の改革改善案 事務手続きの継続のみ。		課題とその解決策 特になし。		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
	法令外負担金のため、事実上、町は事業に関与していない。										

31-02-000018 総合的な学習の時間支援事業				担当組織 教育課 総務・学校グループ			事業費 121,810円				
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 1教育総務費		目 2事務局費					
事業概要	対象	町内小中学校児童生徒。		意図	児童生徒の学力・体力向上。			手段	外部講師活用。		
		町内小学校児童	平成23年度 991 平成24年度 917 単位 人			基礎学力・体力が身に付いている児童・生徒の割合【小】	平成23年度 81 平成24年度 80 単位 %			管内小学校	平成23年度 6 平成24年度 6 単位 校
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		今後の改革改善案 今後も同様に継続する必要がある。		課題とその解決策 他の事業と合わせて、教員の指導力向上を図ることにより、外部講師の有効活用にもつなげる必要がある。		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
	今後も継続する必要がある。										

31-03-000001 児童生徒等健康保持増進事業				担当組織 教育課 総務・学校グループ			事業費 4,817,439円				
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 1教育総務費		目 2事務局費					
事業概要	対象	管内小中学校に在籍している児童生徒健康診断受診対象の教職員		意図	健康の保持増進			手段	児童生徒および対象教職員の健康診断の実施		
		児童生徒数	平成23年度 1,615 平成24年度 1,508 単位 人			児童生徒受診・受検率	平成23年度 100 平成24年度 99 単位 %			受診児童生徒数	平成23年度 1,615 平成24年度 1,503 単位 件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		今後の改革改善案 成人病の低年齢化などの社会現象に伴い、児童生徒の受診項目について今後増やすべきか検討する必要がある。また、心臓検診について、現在は小1と中1のみだが、小1で受診した後、次回の中1まで長期間受診機会がないことから、小4の受診についても検討していく必要がある。		課題とその解決策 養護教諭との連携。予算の確保。		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
	児童生徒健康診断については、長期欠席者など受診できない児童生徒の実施が困難であった。教職員健康診断は、みなかみ町職員健康診断の日程に合わせて教職員受診対象者も受診できるよう計画したため受診項目が増え、健康増進に役立てることができた。また、年度内に人間ドックを受診する教職員については、重複受診させないようにした。										

26 学校教育の充実

31-03-000002				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 2,310,934円			
事務局一般管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費	
事業概要	対象	管内小中学校各種調査		意図	事務局の事務を円滑に行えるようにする。				手段	事務用品等の購入。地方教育費調査などの各種報告。	
		小中学校数	平成23年度 10 平成24年度 10 単位 校		決算額	平成23年度 2,333 平成24年度 単位 千円	購入した事務用品等			平成23年度 728 平成24年度 913 単位 千円	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="radio"/> 目的妥当性	<input checked="" type="radio"/> 有効性	<input type="radio"/> 効率性	<input type="radio"/> 公平性	コスト		削減 維持 増加			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	成果 向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 増加	今後小中学校の事務について、意思統一が不十分であったため、事例によっては複雑な事務になってしまっていた。 今後の改革改善案 調査に関しては、各学校に依頼することが多いため、依頼を出す際、共通した指示をすることが円滑な事務につながる。		

31-03-000005				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 5,021,570円			
遠距離通学費補助事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費	
事業概要	対象	遠距離通学費補助要綱及びスクールバス利用要件に該当する児童・生徒		意図	安全・安心な通学をすることができ、通学距離による格差を解消				手段	新治・水上地区において定期券の購入・利用者証配布。(100%補助) 対象者 新治地区34名 水上地区21名路線バス利用者の定期券代の一部を補助(50%)延べ	
		児童・生徒	平成23年度 55 平成24年度 87 単位 人		事故件数	平成23年度 1 平成24年度 0 単位 件	児童・生徒			平成23年度 55 平成24年度 87 単位 人	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="radio"/> 目的妥当性	<input type="radio"/> 有効性	<input type="radio"/> 効率性	<input type="radio"/> 公平性	コスト		削減 維持 増加			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	成果 向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 増加	車の利用が増え交通量が多くなった現在、児童・生徒がより安全に遠距離を通学でき、学校生活の充実に結びついている。 現状は、従来通り遠距離の生徒が不平等を受けないように、定期券を購入し路線バスの利用継続、年間を通して安全・安心に登下校できるよう努力する。 課題とその解決策 今後スクールバス運行、路線バスの問題等の体制が整えば事業の見直しを検討できる。財政上の問題や地域性もありすぐには解決できない。		

31-03-000008				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 655,200円			
有害サイトアクセス制限事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費	
事業概要	対象	小中学校、児童、教員、事務		意図	学校のインターネット環境からは有害なサイトを閲覧することができないようになっている。例えば自殺、ポルノ、猟奇など。				手段	情報セキュリティシステムの管理	
		小中学校学校数	平成23年度 10 平成24年度 10 単位 校		不適切なホームページにアクセスした回数(報告数)	平成23年度 1 平成24年度 0 単位 校	セキュリティシステム リース導入校数			平成23年度 10 平成24年度 10 単位 校	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="radio"/> 目的妥当性	<input checked="" type="radio"/> 有効性	<input checked="" type="radio"/> 効率性	<input type="radio"/> 公平性	コスト		削減 維持 増加			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	成果 向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 増加	インターネット環境の安全確保はできていると思われる。今後は職員室等のUSB、HDIによる情報の持ち出しを検討する。LAN配線工や簡易な設定などで学校側からの要請が多くある。インターネットフィルタリングでは、システムの自動更新よりも早く不適切な映像が小学校で見られていた報告を受けた。後日その映像は見れなくなったが、報告を受ければサイト指定して閲覧を禁止することができるので学校への周知を行った。 今後の改革改善案 リース契約の継続。情報通信環境の変化は専門的に町全体を見ながら行っていこうが効率が良いと思う。知識と経験が豊富な専門業者に委託して行うとしていきたい。 課題とその解決策 学校では財務会計システム、教職員給与システム、一般事務と使用するパソコンの使い分けをしている。教職員給与システムは専用電話回線を使うよう指導があるため分けた扱いになっている。統一することで事務効率が良い。		

26 学校教育の充実

31-03-000011				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 60,802,318円				
スクールバス管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費		
事業概要	対象	受託者及びバス利用者		意図	民間事業者のノウハウを活用した安全・安心が確保された運行と運営				手段	幼稚園児、小中学生の輸送		
		バス利用者数	平成23年度 526		平成24年度 491	単位 人	事故件数	平成23年度 1		平成24年度 0	単位 数	発注者側の要求する業務になっているか
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 - - - - - × - × ×	
	全体総括 委託2年目であり、移行期間中であるため、現状の業務精度のより一層の向上を追求していく。				今後の改革改善案 現状のコスト水準で高いパフォーマンスを求めているため、受託者を厳選し民間ノウハウの取り込みと職員の関与を減らす。				課題とその解決策 受託者の業務精度の向上及び同業他社との競争を取り入れる。また担当職員の指導の厳格化と業務効率の新たな手段等の可能性の追求をしていく。			

31-03-000013				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 5,949円				
【基金】教育環境整備基金				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費		
事業概要	対象	評価対象外		意図	評価対象外				手段	評価対象外		
		平成23年度	平成24年度		単位	平成23年度	平成24年度	単位		平成23年度	平成24年度	単位
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 - - - - - × - × ×	
	全体総括 評価対象外				今後の改革改善案 評価対象外				課題とその解決策 評価対象外			

31-03-000014				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 8,099,898円				
小・中学校施設維持管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費		
事業概要	対象	管内小学校施設		意図	学校の要望に対して対象箇所を修理する				手段	管内小学校の修繕		
		全体の修繕件数	平成23年度 13		平成24年度 17	単位 件	要望に対する処理率	平成23年度 50		平成24年度 50	単位 %	10万円以上の修繕の処理
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 - - - - - × - × ×	
	全体総括 小中学校との事業一元化をする事も検討する必要がある。また毎年度、事業費等の支出状況が変わるため、日頃の管理から状況を把握し事業費の削減に努める。対象物件の多くが、予算上の都合から先送りされているため、集中的な改修が必要になっている。				今後の改革改善案 小中学校の管理事業一元化し、業者への請負料の更なる削減。経費を削減するためやり方を再検証していく。				課題とその解決策 小中学校管理運営事業との一元化の検証・検討			

26 学校教育の充実

31-03-000015				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 63,937円														
地域学校保健委員会事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 1教育総務費		目 2事務局費												
事業概要	対象	町内各小中学校の養護教諭・保健主事・栄養士・栄養教諭及び保健師。また、各小中学校の児童生徒及び保護者。			意図	養護教諭等に対して、研修及び交流の場を設定することによって児童(小学生)・生徒(中学生)への指導及び保護者への啓発に役立てる。			手段	みなかみ町学校保健委員会を企画運営した。												
	町内小学校児童	平成23年度	平成24年度	単位		朝食をとっている児童の割合	平成23年度	平成24年度		単位	町内小学校	平成23年度	平成24年度	単位								
廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト												
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			成果	向上			維持	○	×	低下	×	×
成果	向上																					
	維持	○	×																			
	低下	×	×																			
全体総括		各学校の学校保健委員会の様子を知ることができるとともに、医師の助言を得ることができた。今後は、歯科衛生士の派遣とともに町全体で取り組むテーマを設定したい。			今後の改革改善案 歯科衛生士を平成23年度に実施した学校以外の各校に派遣する。			課題とその解決策 歯科衛生士を各校に派遣する際に発生する謝金と消耗品費の予算確保を今後も継続して行う。														

31-03-000017				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 1,415,885円														
児童生徒災害共済保険加入事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項		目												
事業概要	対象	管内小中学校に在籍している児童生徒			意図	災害共済給付を行うことにより保護者負担の軽減を図る			手段	年度契約更新事務・医療費の請求および支払い												
	児童生徒数	平成23年度	平成24年度	単位		給付金額	平成23年度	平成24年度		単位	災害共済加入児童生徒数	平成23年度	平成24年度	単位								
廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト												
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			成果	向上			維持	○	×	低下	×	×
成果	向上																					
	維持	○	×																			
	低下	×	×																			
全体総括		学校の管理下における児童生徒の災害について、共済給付を行うことを目的とし、国・学校の設置者・保護者の三者負担による互助共済制度のため、今後も事業継続が必要である。			今後の改革改善案 本来、学校が請求するため、児童生徒への支払いも学校が行うべきだが、福祉医療の支払いの関係上、事務局で福祉医療費の返還及び児童生徒への支払い事務を行っていることで事務量がある。福祉医療関係機関の事務を考慮しなければ簡素化が可能。			課題とその解決策 福祉医療費の返還事務を考慮した事務をしない場合、業務時間の短縮が可能だが、それにより福祉部局の事務量が増大することが予想されるため、一概に削減余地を表記できない。														

31-03-000019				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 5,472,809円														
要保護・準要保護児童生徒就学援助事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項		目												
事業概要	対象	住民登録があり、町立小中学校に通学し、経済的な理由で就学が困難と認められる児童生徒			意図	学校生活に必要な経費を援助軽減することで、義務教育の円滑な実施に資する			手段	申請に基づき審査を行い、認定者に年3回援助費を支給する												
	申請児童生徒数	平成23年度	平成24年度	単位		一人あたりの助成額	平成23年度	平成24年度		単位	受給児童生徒数	平成23年度	平成24年度	単位								
廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		× 効率性		○ 公平性		コスト												
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			成果	向上			維持	○	×	低下	×	×
成果	向上																					
	維持	○	×																			
	低下	×	×																			
全体総括		受給申請者は増加傾向にあるが、所得調査を行うようになったことで、実情に沿った審査を行えるようになった。今後は養育費等についても調べるようにすれば、さらに受給者を絞り込むことができるかと思う。			今後の改革改善案 申請書に養育費等に関する質問事項を設け、実態を把握に努める。			課題とその解決策 自己申告に頼る部分があるため、実情を記入させるよう申請書の内容を工夫する。														

26 学校教育の充実

31-03-000020				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 968,967円				
特別支援学級就学援助事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項		目		
事業概要	対象	特別支援学級に通学する児童生徒の保護者			意図	特別支援学級に通学する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減			手段	特別支援学級に通う児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を補助する		
		特別支援学級在籍児童生徒数	平成23年度 26	平成24年度 35		単位 人	一人あたりの助成額	平成23年度 30,885		平成24年度 35,887	単位 円	受給者数
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	年々対象者が増加している状況で、それに伴い事務量も増えている。			今後の改革改善案	法律に基づいた事業のため、国が何らかの処置をした場合は、町の支出額が増加することもある。			課題とその解決策	国が準要保護助成事業のように地方自治の判断に任せるような状況となった場合に、事業の内容を検討する必要がある。		

31-03-000021				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 56,155,603円				
小学校運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 2小学校費		目 2小学校費		
事業概要	対象	児童、教職員			意図	良質な教育環境を提供する。			手段	各学校の運営事務		
		児童数	平成23年度 1,001	平成24年度 917		単位 人	決算額	平成23年度 69,668		平成24年度 60,794	単位 千円	学校数
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	町の財政難から教育環境への予算の削減が行われ学校経営を行う経費の確保ができず小規模校と大規模校の格差がみられる。			今後の改革改善案	学校予算の配分について検討			課題とその解決策	各校から当初予算編成前から事前の実情収集に努め各校への予算の公平性を持てるように努力する。		

31-03-000040				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 46,240,601円				
中学校運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 3中学校費		目 2中学校費		
事業概要	対象	生徒、教職員			意図	生徒に快適な教育環境を提供する。			手段	中学校運営事務		
		生徒	平成23年度 614	平成24年度 591		単位 人	決算額	平成23年度 40,447		平成24年度 48,121	単位 千円	学校数
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	学校予算の配分方法について小規模校、中規模、大規模校との格差が生じてしまう。町の財政難から教育環境にも同様に削減されており経費の確保が難しい。			今後の改革改善案	学校予算の配分について検討			課題とその解決策	町の財政難により教育予算の減額となり各学校の事情による一律配分は難しい。		

26 学校教育の充実

31-03-000048				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 435,720,000円					
利根沼田学校組合(利根商)運営費負担事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 4高等学校費		目 1高等学校総務費			
事業概要	対象	みなかみ町より利根商業高等学校に在籍している生徒を対象とする。			意図	利根沼田学校組合立利根商業高等学校のスムーズな運営を図る。			手段	利根沼田学校組合立利根商業高等学校運営費設置者負担金の納付			
		入学生徒数	平成23年度	平成24年度		単位	決算額	平成23年度		平成24年度	単位	負担金の納付	平成23年度
			182	166	人		443,917	1,660	千円		1,820	2,100	千円
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		削減 維持 増加 〇 × ×		
	全体総括	町内中学生の進路となる教育施設を維持し整備充実しなければならない。			今後の改革改善案	現時点では現状を維持していく方向。			課題とその解決策	町内に設置されている教育施設の充実を図る必要がある。			

31-03-000050				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 144,455,432円					
月夜野給食センター管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 8学校給食費		目 1学校給食費			
事業概要	対象	小中学校の児童・生徒			意図	食に対して、関心を持ち毎日の生活の中で何故食事が大切であるか食育を通して理解を深める。			手段	月夜野・水上地域の各小中学校等への給食の提供			
		児童・生徒	平成23年度	平成24年度		単位	関心を持った児童・生徒の割合	平成23年度		平成24年度	単位	給食回数	平成23年度
			1,223	1,158	人		82	85	%		200	200	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		削減 維持 増加 〇 × ×		
	全体総括	今年度は、調理機器等が購入後7~8年経過し修理が多くあり、今後も同様な修理が発生すると思われるので安心・安全な給食の提供には予算を維持する。			今後の改革改善案	現状維持で特になし			課題とその解決策				

31-03-000053				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 73,775,587円					
新治給食センター管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 8学校給食費		目 1学校給食費			
事業概要	対象	新治地区内の小中学校の児童・生徒			意図	食に対して、関心を持ち毎日の生活の中で何故食事が大切であるか、食育を通して理解を深める。			手段	新治地区内の各小中学校等への給食の提供			
		児童・生徒	平成23年度	平成24年度		単位	関心を持った児童・生徒の割合	平成23年度		平成24年度	単位	給食回数	平成23年度
			567	513	人		83	86	%		200	200	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		削減 維持 増加 〇 × ×		
	全体総括	栄養士と調理員に適度の緊張感がありますが、和やかに一生懸命業務を行い、安全でおいしい給食を提供出来た。			今後の改革改善案	現状維持で特になし			課題とその解決策				

26 学校教育の充実

31-03-000057				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費				円				
奨学金貸与事業				予算科目 会計				款				項 目				
事業概要	対象	・町内の住民で経済的理由により不安を抱えている優秀な生徒			意図	合併当初旧町村単位で金額等まちまちであったが現在は足並みが揃ったので、町民の学ぶ機会を増やせるようにする。			手段	・平成23年度貸与者数及び貸与額合計 2,640,000円 ・平成23年度返済者数及び返済額合計 1,795,000円						
		貸与者・返済者	平成23年度	平成24年度		単位	貸与により進学(就学)している者	平成23年度		平成24年度	単位	返済者	平成23年度	平成24年度	単位	
			19	23	人			11	13	人		8	8	人		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果		コスト 削減 維持 増加	
	全体総括	経済的に困窮している者を対象に学資を貸与し有能な人材を育てることを目的とし、その対象者は、義務教育を修了した大学等の高等教育対象者であり、ここでいう学校教育の充実には、合致しない。公共、民間含め多くの制度があり、重複している制度であり、見直し余地のある事業の一つと考えられる。			今後の改革改善案	奨学制度が無い自治体が、多くある中で、事業として維持、継続していく理由を探す事が難しいと考える。			課題とその解決策							

31-03-000060				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費				3,415,770円				
小・中学校IT環境整備事業				予算科目 会計 一般会計				款 10教育費				項 目				
事業概要	対象	小中学校、IT教室、職員室等のパソコン機器関連			意図	学校の情報環境の整備を推進する。児童生徒が日常的に使用できるパソコンの設置台数。設置率の上昇			手段	古馬牧小学校、桃野小学校、新治中学校の職員用パソコン等更新(5月)月夜野北小学校、水上小学校、藤原小中学校、水上中学校の職員用パソコン等更新(12月)						
		小中学生生徒数	平成23年度	平成24年度		単位	調べ学習ができる児童の割合	平成23年度		平成24年度	単位	小中学校に設置された児童用PC台数	平成23年度	平成24年度	単位	
			1,615	1,509	人			100	100	%		447	447	台		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果		コスト 削減 維持 増加	
	全体総括	パソコンは教育現場においても必須となっており、業務の効率を上げるためにも職員はストレスなく使えるものを整備したい。周辺機器の性能も毎年上がっており予算内で整備していきたい。比較的使用頻度の低いコンピュータ室のパソコンは先に送られがちであるが本来は児童用パソコンの使用頻度を上げるような整備が必要である。パソコンなどハード面の更新と合わせてソフト面の充実が課題となる。			今後の改革改善案	これまでパソコン機器については5年リースの形で導入していたが、21年から購入で処理している。購入から時間が経過した時の修繕費がどの程度かかるか今後経過を見守る必要がある。			課題とその解決策	買取後は町が管理、設定などの面倒をみることになる。保守の効率のために学校ごとに業者と保守契約を結び、ネットワーク環境管理、更新計画、メンテナンス契約を結べるようにしたい。部品代、修繕費は別途すれば通常経費は不要。						

31-03-000062				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費				円				
児童生徒就学事務事業				予算科目 会計				款				項 目				
事業概要	対象	町内に住所を置く就学年齢児童生徒・保護者、管内小中学校へ就学を希望している児童生徒・保護者			意図	7歳から15歳の児童が義務教育が受けられるようになる			手段	転入学の許可書等作成・入学通知作成・区域外就学等の申請の受付・許可・関係機関からの通知書の学校への配布・学校からの報告書の取りまとめ						
		町内の就学年齢児童数	平成23年度	平成24年度		単位	就学率	平成23年度		平成24年度	単位	入学通知等送付件数	平成23年度	平成24年度	単位	
			1,615	1,509	人			100	100	%		350	350	件		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果		コスト 削減 維持 増加	
	全体総括	住民票担当課との連絡をスムーズにし、転入者等にスムーズに入学通知を発行できるよう心掛ける。			今後の改革改善案	入学通知書の発行など、担当者が事務処理だけでなく、グループ員にも対応可能なマニュアルを準備することで町民対応する。			課題とその解決策							

26 学校教育の充実

31-03-000063 藤原小中学校教職員住宅管理運営事業				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 288,148 円							
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 1教育総務費				目 2事務局費							
事業概要	対象	みなかみ町立学校に勤務する教職員			意図	教職員住宅が快適に居住可能な状態になっている。			手段	教職員住宅の賃貸管理、修繕					
	入居者数	平成23年度	平成24年度	単位		不具合・不都合の報告件数	平成23年度	平成24年度		単位	施設数	平成23年度	平成24年度	単位	
			2	2	人		1	0	件		1	1	軒		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト			削減 維持 増加						
	全体総括	施設は、老朽化しているものの、現状維持ができる状態であるので、当面は、事業を維持できると思われる。また、施設には、補助金が使われており、耐用年数が残っていることから適正化法の縛りを受けている。			今後の改革改善案			現状の水準を維持し、来年度以降は、徐々に施設の延命の為の修繕を実施していく。			課題とその解決策			耐用年数と維持管理コストを勘案し、検討していく。	

31-03-000064 【基金】教育基金				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 7,565 円					
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 1教育総務費				目 2事務局費					
事業概要	対象	評価対象外			意図	評価対象外			手段	評価対象外			
		平成23年度	平成24年度	単位			平成23年度	平成24年度		単位		平成23年度	平成24年度
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト			削減 維持 増加				
	全体総括	評価対象外			今後の改革改善案			課題とその解決策			評価対象外		

31-03-000065 地域子ども安心安全・育成協議会活動支援事業				担当組織 教育課 総務・学校グループ				事業費 円					
予算科目 会計 一般会計 款				項				目					
事業概要	対象	児童生徒			意図	通学中の事故、事件がないこと			手段	月夜野地区、水上地区、新治地区でそれぞれ学校を中心とした「子ども安心安全・育成協議会」を設立し、3地区でそろったら町が連絡協議会をもち、活動内容の連絡調整を行うこととしている。			
	児童生徒	平成23年度	平成24年度	単位		事故件数	平成23年度	平成24年度		単位	町内学校数(学区)	平成23年度	平成24年度
				1,508	人			1	件			1	校
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト			削減 維持 増加				
	全体総括	児童生徒の減少により、保護者への負担が高まっている。少しでも子育てに専念してもらうためにも地域や周囲の協力が必要とされる。また、ボランティア活動への負担、責任が過度に高まらないように周知することも必要となる。広く浅くできるときにできるだけ参加してもらうことを基本としていくことで継続した活動ができるものと考えている。			今後の改革改善案			課題とその解決策			通学路マップ、年間行事予定表、月間行事予定表などを地域に配布することも考える。引き続き手段を協議会で検討して協議会発信してもらう。		

26 学校教育の充実

32-00-000003				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		209,312 円				
家庭教育支援事業				予算科目		会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 1社会教育総務費		
事業概要	対象	町内の次年度小学校・中学校に入学する児童・生徒の保護者			意図	家庭での子育てや子どもとの接し方を見直し成長段階に応じた子育てを親として自覚し、実践する。				手段	就学時健診を活用した子育て講座 5講座移行学級を活用した思春期子育て講座 4講座			
		講座参加者率	平成23年度	平成24年度		単位	聴講して「よかった」と感じた保護者の割合	平成23年度	平成24年度		単位	講座開催数	平成23年度	平成24年度
			98	98	%		89	90	%		9	9	回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加	向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×					
	全体総括	該当児童・生徒の保護者が全員参加する就学時健診、移行学級を活用するため、決められた日程で講座を組みその日程にあった講師しか呼ぶことができない。特に移行学級時の思春期子育て講座における講師選定は、人材確保が容易でない。事前から情報収集を心がける必要がある。			今後の改革改善案	最小の回数で最大の効果を上げるためには、現状の就学時健診、移行学級を活用した開催が最良と考える。事業実施を経験していく課程で効率的な事務が可能となり、延べ業務時間の削減ができる。と考える。				課題とその解決策	小学校に入学する児童の保護者が聴きたいこと、中学校に入学する保護者が聴きたいこと、ニーズに応えた講師の選定がいつでも課題の一つである。			

32-00-000007				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		928,971 円				
奄美大島青少年交流事業				予算科目		会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 1社会教育総務費		
事業概要	対象	町内の小学5・6年生			意図	人との交流・チャレンジする気持ちを持ち、参加してもらう。				手段	スキー教室・宝探し・マリンスポーツ体験・塩作り・お菓子作り			
		町内小学5.6年生の数	平成23年度	平成24年度		単位	応募者の数	平成23年度	平成24年度		単位	スキー教室	平成23年度	平成24年度
			358	330	人		14	16	人		2	2	件	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		× 目的妥当性		× 有効性		× 効率性		○ 公平性		コスト			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加	向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×					
	全体総括	大勢の子ども達に、すばらしい体験をしてもらいたい。			今後の改革改善案	町からの補助金がカットされ、受益者負担が増えたと、見直しが余儀なくされ継続も危ぶまれてくる。				課題とその解決策	奄美の良さを知ってもらうために、写真を掲載したり、体験者の生の声を聞いてもらうなどして関心をもたせる。			

生涯學習推進室

施策マネジメントシート(平成24年度の振り返り、総括)

作成日 平成 25 年 6 月 18 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	教育課
				課長	岡田 宏一
施策	27	生涯学習の推進	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
			2 学習機会の充実	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する機会を得られる。
			3 学習環境の整備	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する場を確保できる。
			4		
			5		

成果指標	成果指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	日頃から、生涯学習を行っている町民の割合			%	実績値	35.5	27.4			
			目標値		35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
B	文化協会加盟団体登録者数	人	実績値	1,331	1,314	1,207					
			目標値		1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320
C	生涯学習施設利用者数	人	実績値	13,700	13,865						
			目標値		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
D			実績値								
			目標値								
E			実績値								
			目標値								
F			実績値								
			目標値								

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 町民アンケートにより把握
 ※あなたは日頃、テーマを持って学習活動に取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」、「週に1日以上」、「月に1回程度」、「年に数回程度」と回答した人の割合

B) 文化協会登録団体者数（自らの教養を高めるための学習活動を行っている人達）であり、数値が変わらずに推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。

C) 中央・水上・新治の3公民館で生涯学習のために利用した人数であり、数値が高まれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。

目標値設定の考え方

A) 生涯学習を行っている人(文化協会など)には高齢者の割合が高い。若い人の参加が鈍いことを考えると、今後、学習を行っている人の割合が徐々に減少すると想定される。
 平成20年度水準(35.0%)を維持し、町民の3人に1人以上が生涯学習を行っている状態をめざす。

B) 文化協会加盟者は、高齢者が多く人数も減少傾向である。現状を維持するため各文化団体を支援し町文化祭への参加と充実。また生涯学習活動のきっかけを作る事業を実施し、文化協会に加盟してもらえよう自主活動グループの育成をめざす。

C) 施設利用者数は町内教育委員会管理施設で開催されている各教室、講座等の延べ数。

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①生涯学習の必要性を感じ、生きがいとなるような学習活動を行う。 ②学習の楽しさを広め仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ③指導者となり、さらには後継者を育成する。	①生涯学習の機会の提供や契機づけを行う。 ②生涯学習施設の整備と管理運営を行い、生涯学習を行うための場を提供する。 ③生涯学習を行う人・団体の活動を支援する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①生涯学習を行う人に高齢者の割合が高い。若い人の参加が鈍いため、今後、生涯学習に取り組む人数は減少する見込み。 ②生涯学習に関して、今後5年間では法的に大きな変更はない。 ③社会教育委員会で、図書室のあり方を検討する。 ④平成24年～26年にカルチャーセンターの空調・照明・ステージ装置・駐車場など大規模改修を実施する。 ⑤社会情勢により就職のための学習などを若い人達が行う可能性がある。 ⑥高齢者の利用が増加するため、利便性の良い施設が必要となる。 ⑦身近な場所で利用できる施設の確保をしていく。	①文化活動をしていない一般町民が手軽に学びたいという声があり、公民館講座の再開を希望する声がある。 ②各団体の講習会等開催チラシ配布の依頼や後援等の支援要望がある。文化祭の会場設営では、各団体から手伝いを出していただいて設営運営しているなど、住民の意識は高くなっている。 ③図書室に置かれている本を検索することができないなどの声がある。 ④生活に密着した講演会等は人気もあり参加して良かったとの声がある。 ⑤施設によっては、バリアフリーが必要という声がある。

施策	27	生涯学習の推進	主管課	名称	教育課
				課長	岡田 宏一

実績比較		背景・要因
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 ① 時系列比較 ② 他団体との比較 ③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①日頃から生涯学習を行っている町民の割合は、平成23年度35.5%から平成24年度27.4%と約8.1%減少している。年代別にみると、60歳代が32.4%と最も高い割合となっており、30歳代23.9%、40歳代で23.8%と低い割合となっている。仕事や家事などに追われ「忙しくて時間がとれない」状況と思われる。さらに、20歳代で「ほぼ毎日」が16.2%と高いことから、就職難の中、採用試験等に向けての学習の意識が高まったことが要因と推測される。 ②文化協会登録者は、年々高齢化が進み活動できなくなる団体もあり人数も減少傾向である。 ③各公民館は活動の拠点となっており、サークル活動や学習会等が行われているが、利用者は横ばい状況である。なお今回の利用者実数には、カルチャーセンターは含まれていない。
	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①一般に公民館講座と呼ばれているような町民向けの学習講座が少ない。近隣の中之条町では講座が潤沢に開催されている。また、郡内では昭和村が生涯学習大会や夏の親子映画祭などの他、公民館活動も行われており、川場村・片品村においても教養講座や文化展、高齢者学級等が開催されている。 ②文化協会の活動は、近隣市町村と比べても自主的に企画立案しており、活動内容の充実(研修会、講習会、後継者育成等)が図られている。平成24年度郡内の文化協会人数は、昭和村533人 川場村424人 片品村226人である。 ③図書館のない自治体は、県内35市町村のうち、みなかみ町を含め14町村である。一方で、カルチャーセンターは沼田文化会館に比べ、適切な規模であったり使用料も低く設定しているなど、使いやすい状況にある。平成24年度に生涯学習のために利用した人数は約14,000人。
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①生涯学習は多種多様であり、個人の意識もそれぞれ差がある。学習を行っていると捉えている人、あくまでも趣味として楽しんでいる人など、様々でありアンケートでは捉えられない部分もある、学習への取り組み状況は高齢者の割合が高い。 ②文化協会は、高齢化が進み継続できない団体もあるなか、役員を中心に活動は活発である。文化祭や教養講座等自主的に運営されている。 ③平成24年度は目標値を下回った。各地区公民館のうち新治公民館の利用者が少ない状況である。各施設での活動内容は、サークルの学習活動やキッズセンター等、青少年の体験活動の機会提供や居場所づくりに利用されている。
成果実績に対する総括	①文化・社会教育の振興を図るため、公募により、活動団体に対して文化活動補助事業補助金(計420千円)を6団体に交付した。 ②文化水準の向上、生涯学習への意欲の向上のため文化祭を開催し、各団体日頃の学習成果の発表の場を設けている。 ③社会教育委員連絡協議会において、社会教育に関する諸計画の立案、会議の開催、研修会へ参加したことで、社会教育委員としての資質の向上ができた。また、図書のとおり方の検討小委員会を設け、町内4つの図書室を視察し今後の方向性を協議している。 ④中央公民館図書室を平成24年7月より日曜日も開室し、利用者の利便性を図った。 ⑤平成24年度の生涯学習大会は、カルチャーセンターにおいて歌手の中島啓江さんを招き「生きる力」ありがとうは魔法の言葉～と題して記念講演を開催。他に中学生による少年の主張、文化協会加盟団体の舞踊や民謡などの活動発表を行った。参加者は約150名であった。 ⑥みなかみ町の町名に由来する、若山牧水の「みなかみ紀行」をテーマに全5回の学習講座をカルチャーセンターにて開催、定員以上の参加者があり町民の関心の高いことがわかった。人数の都合上参加できない方も多かったため25年度も引き続き実施する。 ⑦カルチャーセンターの空調設備工事・照明設備工事を実施。ホール部分のボイラー交換、各会議室のエアコンによる冷暖房、照明をLEDに交換等、将来的なランニングコストの削減につながる改修を行った。	

	基本事業名	今後の課題	平成26年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1 学習意欲の高揚	生涯学習に意欲、感心のない町民に対し取り組みへの意識付けが必要である。	各種団体と連携し生涯学習大会や講座実施、社会教育委員を活用し興味・感心を引く内容を検討する。生涯学習の楽しさや必要性の啓発、生涯学習へ取り組むためのきっかけづくりを行う。
	2 学習機会の充実	町民の学習ニーズに応じた学習の機会を増やしていく。自主的に学習活動するグループの活動を支援し、指導者の育成を図る必要がある。	若山牧水の「みなかみ紀行」をテーマとした学習活動の自主学習グループを形成するための支援をする。与謝野晶子の生き方と歌の魅力を学習する講座を継続する。生涯学習大会等、学習成果の発表の場を提供する。
	3 学習環境の整備	公民館の利便性を高めるよう施設整備し、利用者の生涯学習を推進する。 図書室のサービスを向上するため利用環境の整備が必要である。	生涯学習の拠点となるカルチャーセンターは、舞台の照明、音響設備等の改修工事を行う。 図書室は、キッズスペースやイス・机等の有効配置による利用しやすい環境整備。
	4		
	5		

27 生涯学習の推進

32-00-000006 成人式事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		579,729円			
予算科目				会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 1社会教育総務費			
事業概要	対象 町内の新成人	意図			手段			第7回みなかみ町成人式を開催。					
		両親や周囲の人に感謝し、責任ある社会人としての自覚を持つ。			参加者数			平成23年度	平成24年度	単位			
	新成人数	平成23年度	平成24年度	単位	参加率(町内中学校卒業者のみ)	平成23年度	平成24年度	単位					
		291	250	人		87	87	%					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×		
	少子化の影響で該当者は減少してきているが、参加率は高い。			今後の改革改善案			思い出に残る式典になるよう、魅力あるアトラクションを用意したい。			課題とその解決策			
	全体総括									予算が少ないため、選べる企画に限られる。予算を掛けず、なおかつ地元に着用を持ってもらうためにも、出来るだけ地元の人材を活用したい。			

33-00-000001 文化協会活動支援事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		802,000円			
予算科目				会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 1社会教育総務費			
事業概要	対象 ①みなかみ町文化協会 ②文化振興団体	意図			手段			文化協会事務全般/文化振興事業費補助金交付手続き					
		文化振興を推進する			文化団体数			平成23年度	平成24年度	単位			
	人口	平成23年度	平成24年度	単位	発表会等文化事業数	平成23年度	平成24年度	単位					
		21,618	21,218	人		15	16	件					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		× 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×		
	文化協会はすべての市町村に存在し、会員の高齢化、減少傾向はいずれの市町村でも同じ状況である。しかし、文化振興の要であり、工夫しながら維持していくべきである。			今後の改革改善案			①観光商工部門で実施している芸術文化事業との連携を模索する必要がある。②文化事業の後援推進。			課題とその解決策			
	全体総括									常に様々な部門と連携・調整をはかる。			

33-00-000002 社会教育委員事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		209,648円			
予算科目				会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 1社会教育総務費			
事業概要	対象 社会教育委員	意図			手段			会議の開催 研修会への参加					
		社会教育施策の検討			会議回数			平成23年度	平成24年度	単位			
	平均研修参加率	平成23年度	平成24年度	単位	社会教育委員からの提案数	平成23年度	平成24年度	単位					
		40	36	%		2	1	件					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×		
	県連絡協議会で行う研修についてはなるべく多くの委員に参加してもらっているが、委員の半数は社会教育団体の会長である事から自分の団体の関係する会議や研修もあり、日程が取れない場合もある。また、年2~3回の社会教育委員会会議を開催し、町の社会教育振興の発展に向けた提案や図書室の在り方を検討する小委員会を立ち上げ、協議を行っている。今後更なる積極的な問題提起を促し、社会教育委員による協議機会を増やしていきたい。			今後の改革改善案			県連絡協議会の開催する研修内容は、町が拠出している負担金額から考えれば十分なものである。町社会教育委員が希望する研修内容があれば、県連絡協議会へ要望していくことも可能である。また、図書検討委員会による今後の図書室の在り方等、問題点を協議しながら方向性を検討。			課題とその解決策			
	全体総括									社会教育委員の意向を反映していくためには、各委員が住民の意向を把握することが重要であり、そのための研修や工夫も必要。また、地域住民や各社会教育・体育団体の状況を把握すると共に、学校教育関係機関との交流も必要。			

27 生涯学習の推進

33-00-000003 婦人会活動支援事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 804,000円																																			
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 6社会教育費 目 1社会教育総務費																																							
事業概要	対象	町内の女性			意図	豊かな人間性を培い、明るい町づくりに貢献する。			手段	総会、定例会(6回)、ハイキング、ミニバレーボール大会、研修視察、新年会、県地婦連主催行事への参加、郡地婦連主催行事への参加、町主催等の行事への参加・協力等。																																	
	会員数	平成23年度	平成24年度	単位		地域に貢献した事業数	平成23年度	平成24年度		単位	行事実施回数	平成23年度	平成24年度	単位																													
<table border="1"> <tr> <td>廃止・休止等</td> <td>○ 目的妥当性</td> <td>○ 有効性</td> <td>○ 効率性</td> <td>○ 公平性</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</td> <td><input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し</td> <td><input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更</td> <td><input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td colspan="4">全体総括</td> <td>今後の改革改善案</td> <td colspan="3">課題とその解決策</td> </tr> <tr> <td colspan="4">地域に密着した活動を続けており、他団体等と与える影響も大きい。会員も楽しみながら活動している。しかし、社会情勢の変化により近年会員数が減少してきているため、このまま減少が続くと今後の活動にも支障が出てくる懸念される。</td> <td>会員数の減少が問題となりつつあるが、打開策が見つからないのが現状である。新規会員を増やすことも大事だが、現会員を大切にきめ細やかな活動を続けていきたい。</td> <td colspan="3">婦人会員も仕事をしている人が多く、すべての行事に参加するのは負担があるようである。あまり強制するのではなく、たとえ少人数でもやりたい人が楽しみながら参加できるような雰囲気作りを心がける。</td> </tr> </table>												廃止・休止等	○ 目的妥当性	○ 有効性	○ 効率性	○ 公平性	コスト			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減	維持	増加	全体総括				今後の改革改善案	課題とその解決策			地域に密着した活動を続けており、他団体等と与える影響も大きい。会員も楽しみながら活動している。しかし、社会情勢の変化により近年会員数が減少してきているため、このまま減少が続くと今後の活動にも支障が出てくる懸念される。				会員数の減少が問題となりつつあるが、打開策が見つからないのが現状である。新規会員を増やすことも大事だが、現会員を大切にきめ細やかな活動を続けていきたい。	婦人会員も仕事をしている人が多く、すべての行事に参加するのは負担があるようである。あまり強制するのではなく、たとえ少人数でもやりたい人が楽しみながら参加できるような雰囲気作りを心がける。		
廃止・休止等	○ 目的妥当性	○ 有効性	○ 効率性	○ 公平性	コスト																																						
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減	維持	増加																																				
全体総括				今後の改革改善案	課題とその解決策																																						
地域に密着した活動を続けており、他団体等と与える影響も大きい。会員も楽しみながら活動している。しかし、社会情勢の変化により近年会員数が減少してきているため、このまま減少が続くと今後の活動にも支障が出てくる懸念される。				会員数の減少が問題となりつつあるが、打開策が見つからないのが現状である。新規会員を増やすことも大事だが、現会員を大切にきめ細やかな活動を続けていきたい。	婦人会員も仕事をしている人が多く、すべての行事に参加するのは負担があるようである。あまり強制するのではなく、たとえ少人数でもやりたい人が楽しみながら参加できるような雰囲気作りを心がける。																																						

33-00-000004 利根沼田文化会館運営費負担事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 21,604,000円																																			
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 6社会教育費 目 1社会教育総務費																																							
事業概要	対象	文化会館			意図	町内の文化団体あるいは住民が活用し、学校教育、社会教育の充実を図る。			手段	負担金支払い起票 補正予算入力																																	
	利根沼田人口	平成23年度	平成24年度	単位		町内文化団体数	平成23年度	平成24年度		単位	施設利用者数	平成23年度	平成24年度	単位																													
<table border="1"> <tr> <td>廃止・休止等</td> <td>× 目的妥当性</td> <td>× 有効性</td> <td>○ 効率性</td> <td>× 公平性</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持</td> <td><input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 意図の見直し</td> <td><input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更</td> <td><input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td colspan="4">全体総括</td> <td>今後の改革改善案</td> <td colspan="3">課題とその解決策</td> </tr> <tr> <td colspan="4">文化会館負担金事業事務は起票が主で負担のない事務量である。ただ、文化会館のあり方をみた場合、高額な負担金と利用実績との関係において如何なものか。</td> <td>建設当時と37年間経過してきた現在とで利用実態が変わってきているのではないかと。広域圏事務局で行っているものなのでその検証ができないことと、広域運営という事で単独での改革・改善はできないことが課題。広域圏事務局に今後の運営のあり方を検討してもらうことが必要と考える。</td> <td colspan="3">建設当時と37年経過した現在とで利用実態が変わってきており、当初の費用負担が現状とマッチしているのか検証すべき。</td> </tr> </table>												廃止・休止等	× 目的妥当性	× 有効性	○ 効率性	× 公平性	コスト			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減	維持	増加	全体総括				今後の改革改善案	課題とその解決策			文化会館負担金事業事務は起票が主で負担のない事務量である。ただ、文化会館のあり方をみた場合、高額な負担金と利用実績との関係において如何なものか。				建設当時と37年間経過してきた現在とで利用実態が変わってきているのではないかと。広域圏事務局で行っているものなのでその検証ができないことと、広域運営という事で単独での改革・改善はできないことが課題。広域圏事務局に今後の運営のあり方を検討してもらうことが必要と考える。	建設当時と37年経過した現在とで利用実態が変わってきており、当初の費用負担が現状とマッチしているのか検証すべき。		
廃止・休止等	× 目的妥当性	× 有効性	○ 効率性	× 公平性	コスト																																						
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減	維持	増加																																				
全体総括				今後の改革改善案	課題とその解決策																																						
文化会館負担金事業事務は起票が主で負担のない事務量である。ただ、文化会館のあり方をみた場合、高額な負担金と利用実績との関係において如何なものか。				建設当時と37年間経過してきた現在とで利用実態が変わってきているのではないかと。広域圏事務局で行っているものなのでその検証ができないことと、広域運営という事で単独での改革・改善はできないことが課題。広域圏事務局に今後の運営のあり方を検討してもらうことが必要と考える。	建設当時と37年経過した現在とで利用実態が変わってきており、当初の費用負担が現状とマッチしているのか検証すべき。																																						

33-00-000006 文化祭事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 390,597円																																			
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 6社会教育費 目 1社会教育総務費																																							
事業概要	対象	①町民			意図	町民に文化活動に対する興味を持ってもらう。			手段	*展示発表会(水上・新治・月夜野会場) *芸能発表会(カルチャーセンター)																																	
	人口	平成23年度	平成24年度	単位		見学者数	平成23年度	平成24年度		単位	開催期間	平成23年度	平成24年度	単位																													
<table border="1"> <tr> <td>廃止・休止等</td> <td>○ 目的妥当性</td> <td>× 有効性</td> <td>○ 効率性</td> <td>○ 公平性</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</td> <td><input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し</td> <td><input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更</td> <td><input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td colspan="4">全体総括</td> <td>今後の改革改善案</td> <td colspan="3">課題とその解決策</td> </tr> <tr> <td colspan="4">文化協会加盟者数、文化祭見学者数を増やす努力が必要。</td> <td>文化祭参加者数および見学者数を増やすために内容を工夫する等の努力が必要。</td> <td colspan="3">文化協会加盟者数の増加は全国的な課題になっているが、他市町村等を参考に研究する必要がある。また、予算をかけなくても文化振興につながる事業をもっと推進していくべきである。</td> </tr> </table>												廃止・休止等	○ 目的妥当性	× 有効性	○ 効率性	○ 公平性	コスト			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減	維持	増加	全体総括				今後の改革改善案	課題とその解決策			文化協会加盟者数、文化祭見学者数を増やす努力が必要。				文化祭参加者数および見学者数を増やすために内容を工夫する等の努力が必要。	文化協会加盟者数の増加は全国的な課題になっているが、他市町村等を参考に研究する必要がある。また、予算をかけなくても文化振興につながる事業をもっと推進していくべきである。		
廃止・休止等	○ 目的妥当性	× 有効性	○ 効率性	○ 公平性	コスト																																						
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減	維持	増加																																				
全体総括				今後の改革改善案	課題とその解決策																																						
文化協会加盟者数、文化祭見学者数を増やす努力が必要。				文化祭参加者数および見学者数を増やすために内容を工夫する等の努力が必要。	文化協会加盟者数の増加は全国的な課題になっているが、他市町村等を参考に研究する必要がある。また、予算をかけなくても文化振興につながる事業をもっと推進していくべきである。																																						

27 生涯学習の推進

33-00-000007				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 24,730円				
おもしろ科学教室事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 1社会教育総務費		
事業概要	対象	町内の小学生			意図	科学や自然に興味を持つ。探究心を持つ。豊かな心を育む。			手段	おもしろ科学教室を2回開催。		
	児童数	平成23年度	平成24年度	単位		参加児童数	平成23年度	平成24年度		単位	実施回数	平成23年度
		992	924	人		42	64	人		2	2	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × × × × ×	
	全体総括	子どもの知的好奇心を満たす良い活動ができている。			今後の改革改善案	子どもたちの貴重な体験活動の場として、今まで同様継続していきたい。			課題とその解決策	特に問題なく良い活動ができているので、引き続きこの状態を維持していきたい。		

33-00-000008				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 8,275円				
群馬県公民館連合会参画事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 2公民館費		
事業概要	対象	職員			意図	公民館活動を推進するとともに公民館運営における知識を修得する。			手段	*公民館関係文書収受および広報受付 *負担金支出事務		
	公民館職員数	平成23年度	平成24年度	単位		公民館(3館)利用者数	平成23年度	平成24年度		単位	公民館数	平成23年度
		9	9	人		14,000		人		3	3	館
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × × × × ×	
	全体総括	財政難により数年前から公民館事業(講座、文化活動等)が下火にある。町民が実施する文化活動を積極的に後援することで予算を節約しながら生涯学習を推進できるものと考えられる。			今後の改革改善案	生涯学習とは一部無関係な利用団体があるが、利用料については多少再検討する必要がある。			課題とその解決策	他市町村の公民館利用状況を参考にして、利用料、受付方法等を検討していく。		

33-00-000010				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 5,937,518円				
水上公民館管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 2公民館費		
事業概要	対象	①町民 ②図書室の蔵書			意図	町民が利用しやすい公民館を運営していく			手段	*公民館利用受付事務 *図書室管理運営 *施設維持管理作業		
	人口	平成23年度	平成24年度	単位		公民館利用者数	平成23年度	平成24年度		単位	公民館開館日数	平成23年度
		21,618	21,285	人		9,054	8,405	人		299	302	日
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × × × × ×	
	全体総括	財政難により数年前から公民館事業(講座、文化活動等)が下火にある。町民が実施する社会教育活動を積極的に後援することで予算を節約しながら生涯学習を推進できるものと考えられる。			今後の改革改善案	生涯学習とは一部無関係な利用団体があるが、利用料について再検討する必要がある。			課題とその解決策	施設の老朽化が目立っている。緊急避難場所に指定されていることもあり、注意が必要。		

27 生涯学習の推進

33-00-000011				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費				円			
新治公民館管理運営事業				予算科目 会計				款				項			
事業概要	対象	①町民 ②図書室の蔵書			意図	町民が利用しやすい公民館を運営していく			手段	公民館施設の貸出・管理 図書室業務(資料の購入・貸出・整理・保管等)					
		団体数	平成23年度	平成24年度		単位	公民館利用者数	平成23年度		平成24年度	単位	社会教育団体の利用回数	平成23年度	平成24年度	単位
			10	24		団体	450	953		人	20	52	回		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
	事業を取り巻く環境が厳しい中での可能なサービスが展開されているが、町民の要望に対応できない部分もあると思われる。不行き届きの点は、町民の理解と協力を求めていくことが望ましい。又、事業は本庁の管轄になっているが、実務は現場の職員との協力が不可欠のため、円滑な連携を図ることが住民サービスの維持につながる。				今後の改革改善案 利用状況及び利用者のニーズを考慮して、より広く利用される施設運営を目指していく。				課題とその解決策 施設が支所内に設置されているため、支所の業務と兼務になっており、きめ細かなサービスは難しい面もあると思われる。今後、人員を削減してサービスの維持を目指すのであれば、支所業務も含めた体制について検討する必要がある。						

33-00-000012				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費				2,662,005円			
中央公民館管理運営事業				予算科目 会計 一般会計				款 10教育費				項 6社会教育費			
事業概要	対象	①町民 ②図書室の蔵書			意図	町民が利用しやすい公民館を運営していく			手段	*公民館利用受付事務 *図書室管理運営 *施設維持管理作業					
		人口	平成23年度	平成24年度		単位	公民館利用者数	平成23年度		平成24年度	単位	公民館開館日数	平成23年度	平成24年度	単位
			21,618	21,285		人	12,689	12,248		人	360	359	日		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
	財政難により数年前から公民館事業(講座、文化活動等)が下火にある。町民が実施する文化活動を積極的に後援することで予算を節約しながら生涯学習を推進できるものと考えられる。				今後の改革改善案 生涯学習とは一部無関係な利用団体があるが、利用料について再検討する必要がある。				課題とその解決策 他市町村の公民館利用状況を参考にして、利用料、受付方法等を検討していく。						

33-00-000013				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費				57,283,295円			
カルチャーセンター管理運営事業				予算科目 会計 一般会計				款 10教育費				項 6社会教育費			
事業概要	対象	基本的に町民を対象とするが、町外の利用者も含む。			意図	文化・芸術に親しむことや、町民が利用しやすいカルチャーセンター運営を行う。			手段	施設内外の管理・清掃並びに各種行事の運営。設備等の維持点検及び操作調整。図書室の整備・充足並びに図書の貸出返却。					
		町民	平成23年度	平成24年度		単位	施設の利用者数	平成23年度		平成24年度	単位	施設の利用回数(全施設利用団体の累計)	平成23年度	平成24年度	単位
			21,532	21,285		人	25,005	22,888		人	587	592	回		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		× 公平性		コスト				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
	文化施設として、安全・安心して利用できる状況にしておくために維持管理が必要である。				今後の改革改善案 指定管理者等の民間委託では、利用者数が少なく採算は合わない。芸術文化活動団体(館利用者)の育成、住民主体型の自主事業の開催、ボランティア運営、寄付金や友の会組織の運営なども考えられるが、地域的に土台が弱いうえ、魅力・興味あるものに高めていくためには経費面からみて極めて困難である。図書室利用率を向上するには、図書等を新增・充足させなければならない。よりよい施設・対応を心がけ、再利用率の向上に努める。				課題とその解決策 メディアの多様化などにより、文化会館・図書館の事業への期待感や要望が薄れている。また、利己的利用者の増加やニーズの多様化により、共有物・共用の時空間としての意識が薄れている。館運営の財政的措置及び人的措置がなければ遂行できない。						

27 生涯学習の推進

33-00-000014			担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		313,170円				
水上中部コミュニティセンター管理事業			予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 3社会教育施設費				
事業概要	対象	①町民			意図	主に水上地区におけるコミュニティー活動を推進する。			手段	*施設維持管理作業			
		人口	平成23年度	平成24年度		単位	利用者数	平成23年度		平成24年度	単位	開館日数	平成23年度
			21,618	21,285	人		1,400	1,340	人		308	310	日
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × × × ×		
全体総括		大穴地区老人会は活発にこの施設を活用している。今後も管理作業を委託し、より一層、施設を活用してもらえていく。			今後の活用方法について再検討する必要があると思われる。			課題とその解決策		施設の老朽化に注意が必要。施設は緊急避難場所になっている。			

33-00-000015			担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		420,000円				
文化振興団体活動費補助事業			予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 1社会教育総務費				
事業概要	対象	町民			意図	町民の文化活動・社会教育活動を推進および拡大する			手段	①子ども歌舞伎教室 ②ぐんま郷土芸能の祭典出演補助 ③古馬牧の人形浄瑠璃後継者育成 ④利根沼田地域圏文化フェスティバル補助 ⑤ガールスカウト活動補助 ⑥風の音コンサート補助 ⑦谷川区郷土写真集製作事業			
		人口	平成23年度	平成24年度		単位	発表会・公演・イベント等発表の機会	平成23年度		平成24年度	単位	交付金額	平成23年度
			21,618	21,218	人		7	5	件		570	420	千円
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × × × ×		
全体総括		事業の周知を徹底させる必要がある。はじまったばかりなので社会教育関係団体にもまだ浸透しきっていないように思われ、各種団体へ教育委員会から積極的に照会するべきだと思われる。			事業の広報			課題とその解決策		様々な社会教育団体があるが中には補助金交付手続等の事務をほとんど行えない(できる人がいない)団体がある。しかし、事務担当者が一緒に申請書や報告書を作成してあげないと、結局、このような団体は活動できなくなってしまう。			

33-00-000017			担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		3,527,835円				
図書室運営事業			予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 5図書室費				
事業概要	対象	公民館及びカルチャーセンターの図書室利用者(町民等) 町内在勤者・在学者等			意図	図書室の資料及び学習場所を提供することにより、町民等の読書意欲の増進、知識・情報の習得及び生涯学習活動推進を図る。又、研修で得た情報を図書室運営に反映させると共に、加盟館との連携を通して利用者の利便性を図る。			手段	資料の選択・購入・貸出・整理・保管・調査相談等の業務を行った。又、寄付金により、図書等を購入し、資料の充実を図った。前年度からの継続で、将来的な電算システム導入(未定)に備えて図書データベース作成業務を行った。県図書館協会の研修への参加、協会加盟館との連携業務の実施を行った。			
		図書室利用者数	平成23年度	平成24年度		単位	図書室利用者数	平成23年度		平成24年度	単位	図書室利用者数	平成23年度
			6,624	7,259	人		6,624	7,259	人		6,624	7,259	人
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × × × ×		
全体総括		予算・人員削減等により利用者サービスが不十分な面もあると共に、一部利用者の環境も変化(図書室を利用する時間がない等)しているように思われる。又、図書室自体の存在も町民に充分認知されていないため、アピールしていくことも必要である。今後、社会の高齢化が進むに従って、生涯学習活動のニーズが増加すると見込まれる。より充実したサービスを目指して、町民により貢献できるように努めていく。今年度の利用状況は利用者数及び資料の貸出数共に前年より増加しており、ある程度、サービスの効果が表れたと思う。中央公民館図書室に関しては、開室日が増えたことにより業務が複雑になったが、円滑な運営ができるように努めたい。			効率的で質の高いサービスを提供するためにも、電算システム導入及び図書室の統廃合も含めた方向性について検討していく。			課題とその解決策		電算システムの導入・維持にかかるコスト、統廃合した場合の各地域のサービス低下への対応策について検討が必要と思われる。又、運営方法を見直した場合の予算・人員配置等が懸念される。			

27 生涯学習の推進

33-00-000018 集会施設整備事業				担当組織 地域整備課 都市計画グループ				事業費 134,707,500円								
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 6社会教育費				目 3社会教育施設費								
事業概要	対象	集会施設			意図	町組区が集会施設を利用出来るうらの郷の住民が集会施設を利用出来る			手段	町組集会施設 監理業務委託、本体工事、地元協議うらの郷集会施設 設計業務委託、監理業務委託 本体工事、地元協議						
	集会施設の進捗率	平成23年度	平成24年度	単位		集会施設利用人数	平成23年度	平成24年度		単位	用地事務	平成23年度	平成24年度	単位		
			5	100	%			200	人		1		回			
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input checked="" type="checkbox"/>	目的妥当性		<input checked="" type="checkbox"/>	有効性		<input checked="" type="checkbox"/>	効率性		<input checked="" type="checkbox"/>	公平性				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下										
全体総括		町組集会施設は町組区に補償金を支払った時点で課の事務事業は完結したと考えている。区から要望されたとはいえ補償金を支出した上に重点施策になっていない集会施設の建設費用及び土地買収費用にまで税金を投入することは妥当性、公平性において疑問が残る。また、地域整備課が本事業を執行し評価することも施策との整合性がない理由であると考える。うらの郷集会施設は販売促進が目的の為の代替事業である為仕方ない部分はあると思われる。			今後の改革改善案			本事業については、改革・改善は出来ない。ただし、施策と関連する課が事業を執行することで施策との整合性は図れるかもしれない。			課題とその解決策			各地区で管理運営する集会施設の建設等については、地区が負担する自主事業と位置付け、財政的な支援として補助金制度を導入することで町の財政負担を軽減できる。また、地域整備課でなくても事業を執行することができる。なお、補助金制度の導入にあたっては条例等を整備することが不可欠である。		

33-00-000019 「みなかみ紀行」学習事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 268,214円								
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 6社会教育費				目 1社会教育総務費								
事業概要	対象	町民			意図	みなかみ町の名称について、みなかみ紀行を学習し、意義を伝える。			手段	若山牧水の「みなかみ紀行」についての講座						
	人口	平成23年度	平成24年度	単位		講座回数	平成23年度	平成24年度		単位						
				21,285	人						5	回				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="checkbox"/>	目的妥当性		<input checked="" type="checkbox"/>	有効性		<input checked="" type="checkbox"/>	効率性		<input type="checkbox"/>	公平性				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下										
全体総括		今後、生涯学習に取り組む人が増え、意欲の向上につながる事を目指し、より充実した内容を検討、工夫し効果的な業務運営を図る。			今後の改革改善案			生涯学習活動への意欲向上を高め、生き甲斐のある町づくりを目指す。生涯学習大会への参加、発表や将来の指導者として活躍してもらおう。			課題とその解決策			今後学習する人が増えてくると、公民館や各施設の整備等の要望が予想される。(利便性など)		

33-00-000020 生涯学習大会事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 710,669円								
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 6社会教育費				目 1社会教育総務費								
事業概要	対象	町民			意図	生涯にわたり学習することの意義を伝える			手段	著名人による講演会、生涯学習関係団体事例発表、少年の主張.						
	人口	平成23年度	平成24年度	単位		参加者数	平成23年度	平成24年度		単位	発表者数	平成23年度	平成24年度	単位		
			21,670	21,285	人		250	150	人		30	7	人			
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="checkbox"/>	目的妥当性		<input checked="" type="checkbox"/>	有効性		<input checked="" type="checkbox"/>	効率性		<input type="checkbox"/>	公平性				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下										
全体総括		生涯学習活動に取り組む人が増え意欲の向上につながることを目指し、より充実した内容を検討、また講師等の選定等工夫しながら効果的な業務運営を図る。			今後の改革改善案			町民の生涯学習活動への意欲を高めると共に、心豊かで、明るく、楽しく生きがいのある町づくりを目指す。講師等の選定や、学習団体の活動発表等の工夫により成果の向上を目指す。			課題とその解決策			生涯学習を進める上に置いて、今後学習団体等が増えてきた場合公民館や各施設の利用者による、施設の整備等の要望が予想される。		

27 生涯学習の推進

35-00-000002				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費		800,000円			
芸術のまちづくり実行委員会活動支援事業				予算科目		会計 一般会計		款 7商工費		項 2観光費		目 2観光振興費	
事業概要	対象	町民、来訪者、実行委員会			意図	芸術・文化に興味を持ち、自ら芸術活動に参加するようになる。			手段	ワークショップ開催。企画展の開催。寄贈絵画の展示。			
		実行委員会人数	平成23年度	平成24年度		単位	ワークショップ開催回数	平成23年度		平成24年度	単位	事務時間	平成23年度
			118	128	人		4	0	回		280	300	H
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加	成果 向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×					
全体総括	・ワークショップが開催できなかったが、収蔵作品151点を対象とした企画展を開催できた。また、24.5月には寄贈者による個展開催を働きかけたが実現できなかったため、次年度も継続して働きかけたい。			今後の改革改善案	・収蔵庫(新治支所)の2階はこれまでの作品でいっぱいである。今後、更に作品が増えることが予想されるため、棚の製作や他の空き施設の利用を考えるほか、絵画の展示をこれまで以上に促進する。			課題とその解決策	・ホテル・旅館・銀行等に展示する場合には、土日の対応とセキュリティの問題を解決しなければならない。・オブジェの収蔵については、引き受けられない。東京芸大に働きかける。・東京芸大との架け橋となった人物が当事業の実行権を持っているかのような振る舞いをしており、この人物の排除が必要。				

35-00-000003				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		159,236円			
剪画美術展巡回展事業				予算科目		会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 1社会教育総務費	
事業概要	対象	剪画展は町民を中心に剪画教室は町内の小学生			意図	多くの人が剪画にふれて親しんでもらう。剪画の普及・芸術文化活動を通して、生活に潤いとゆとりをもち活力を生む。			手段	剪画美術展巡回展の開催剪画教室の開催			
		町民	平成23年度	平成24年度		単位	剪画展入場者数	平成23年度		平成24年度	単位	剪画展出品作品数	平成23年度
			21,532	21,285	人		340	580	人		135	136	点
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加	成果 向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×					
全体総括	日本剪画協会長の石田良介氏が旧月夜野町出身であることから、町民に芸術活動のひとつとして剪画展・教室を25年以上にわたり継続開催している。巡回展は日本剪画美術展に展示した一流作品が身近で鑑賞できるので、芸術の薫るまちづくりに適合している。最終日に行われる剪画教室にもう少し時間を費やし、子どもたちにもっと剪画を普及させ、将来的な剪画展や教室のスタッフを育成したい。			今後の改革改善案	・巡回展を町内外のさらに広い地域で宣伝する。・剪画教室の講師数や日時等の規模を拡大し、内容及び質を高める。・剪画に親しむ機会や内容を検討し、町内に剪画文化を浸透させ、芸術家(プロ・指導者)を育成する。			課題とその解決策	事業費の予算措置が必要である。町内に日本剪画協会長の石田会長の後継者がいないため、剪画美術展巡回展ができない。後継者の育成が急務である。				

施策マネジメントシート(平成24年度の振り返り、総括)

作成日 平成 25 年 6 月 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 教育課 課長 岡田 宏一
施策	28	生涯スポーツの推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
			2 スポーツ機会の充実	スポーツや運動に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	スポーツや運動をする機会を得られる。
			3 スポーツ環境の整備	スポーツや運動に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	スポーツや運動をする場を確保できる。
			4		
			5		

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				A	週1回以上、スポーツや運動をしている町民の割合	%		実績値 46.9 目標値 47.0	実績値 46.3 目標値 47.0	48.0
B	体育協会加盟競技団体登録者数	人		実績値 1,930 目標値 1,930	実績値 1,848 目標値 1,930	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
C	体育施設利用者数	人		実績値 130,362 目標値 135,000	実績値 137,209 目標値 135,000	110,000	135,000	140,000	145,000	150,000
D				実績値						
E				実績値						
F				実績値						

実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケートにより把握 ※あなたはどの程度、運動・スポーツをしていますか。→「ほぼ毎日」、「週に1日以上」と回答した人の割合 運動とは、軽い体操や散歩などの身体活動 スポーツとは、ルールや決まりに基づいて活動する、陸上競技やサッカー、柔道や剣道など 生涯スポーツとは、子どもから高齢者まで生涯にわたって人生の各時期にそれぞれの興味関心や目的に応じて運動やスポーツに親しむこと。競技、レクリエーションとしてあるいは健康体力づくりとして様々な目的や楽しみ方がある。また、するだけでなく観る支える(応援・運営・教える)など様々な関わり方があります。</p> <p>B) みなかみ町体育協会に加盟する団体のうち、各競技団体(22団体)に所属している会員数であり、数値が変わらずに推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。</p> <p>C) 町内にある屋外と屋内の体育施設(学校体育施設の利用者数も含む)の1年間(4月から3月まで)の利用者数であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。</p>
目標値設定の考え方	<p>A) みなかみ町スポーツ推進計画(計画期間10年間)を平成24年度に策定。国・県の目標値は、それぞれ65%、55%としているが、都市部と比較して施設面での不利な状況を考慮すると、5年間で同水準をめざすことは困難。今後、少子化が急激に進み、スポーツ少年団の維持が困難になりつつあったり、人口減少により、団体競技の継続などが困難となっていることを考えると子どもの実施率は下がることが推測される。ただし、団塊の世代が退職を迎え、時間的な余裕が生まれる人がおり、こういった人々が取り組むことにより実施率は上昇する可能性がある。スポーツ吹き矢など新しい軽スポーツを取り入れており、割合が高まる可能性はある。これらは、高齢でも一人でも参加できるスポーツ。成り行きでは4人に1人だが、2人に1人以上の水準をめざす。【国平均:45.4%(H21)、県平均:47.2%(H22)】</p> <p>B) 体育協会加盟団体のうち、比較的、誰でも容易に取り組める競技に人気が集まっている。またグランドゴルフ協会が平成25年度から体育協会に新規加盟する。複数の団体に登録・加盟している人がいたり、団体に登録・加盟しない人もいることから、団体種目がメインの競技団体では、自らの活動や運営に苦慮している団体があるので、2100人を減らさない。</p> <p>C) 健康志向の高まりで、個人でも気軽に取り組める軽スポーツなどにより体力の向上や健康維持に努める人が増えつつある。平成25年度は大規模改修を見込んでいる体育施設があるため、利用者数が一時的に減ることが想定されるが、改修後は5,000人づつ増やしていく。</p>

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <p>①スポーツや運動の必要性を感じ、講座やイベント、団体・グループ活動に積極的に参加する。 ②スポーツや運動の楽しさを広め、仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ③指導者となり、さらには後継者を育成する。</p>	<p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <p>①スポーツ教室や大会を開催するなど、スポーツや運動機会の提供や契機づけを行う。 ②体育施設の整備と管理運営を行い、スポーツを行うための場を提供する。 ③スポーツや運動を行う人・団体の活動を支援する。</p>
---------------	---	---

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <p>①少子化が急激に進み、スポーツ少年団の維持が困難になりつつある。 ②人口が減ると、団体競技の継続などが困難となる。 ③株式会社デサントと連携し、スポーツタウンプロジェクトが始動した。 ④スポーツ立国の実現を目指し、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するスポーツ基本法が平成23年に施行された。この法律に基づき、町では平成24年度にみなかみ町スポーツ推進計画を策定した。 ⑤健康志向の高まりにより、ウォーキングやランニングを行う人が増加傾向。 ⑥平成23年12月に「みなかみ町スポーツ・健康まちづくり宣言 ～笑顔っていいよね～」が制定された。</p>	<p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <p>①老朽化の進む施設が多くあり、整備に関する要望に応え切れていない。(修繕や設備の機能向上など) ②施設予約については、観光目的の利用と町民の利用が重なることがあり、町民利用に制約が生じている。観光目的の利用予約は特に夏休みに集中している。観光専用の施設も必要ではないかという声もある。施設が集中していた方が、使い勝手がよい、施設に行くまでの道がわかりづらい、大会や教室まで行く手段がないから参加できないとの意見もある。</p>
-----------	--	---

施策	28	生涯スポーツの推進	主管課	名称	教育課
				課長	岡田 宏一

		実績比較	背景・要因
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、平成23年度46.9%から平成24年度46.3%となり、ほぼ横ばいの状況であった。</p> <p>②年齢別に平成23年度と平成24年度の割合を比較すると、20歳代は45.8%から36.4%と9.4ポイントの減少、70歳以上は62.6%から57.3%と5.3ポイントの減少が目立つが、他の年代ではほぼ横ばいか微増している。</p> <p>③地区別にみると、月夜野地区は47.6%から44.4%、水上地区は52.3%から49.2%、新治地区は42.3%から48.0%となるなど、月夜野地区と水上地区での減少が目立つ。</p> <p>④体育協会の登録者数は、新たに登録する人がいる反面、複数の団体に登録・加盟している人や個人志向の強まりから競技団体を脱退する人が見受けられ、総じて82名の減少となった。</p> <p>⑤体育施設の利用者数は、130,362人から137,209人となり、6,847人増加した。これは夏季の合宿等で町外からの利用者が増えたことや、ゲートボールの全国大会やグランドゴルフの関東大会等の大規模な大会が開催されたことによる。</p>
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	<p>①全国や群馬県のデータと比較すると、週1回以上運動・スポーツをしている人の割合(全体)は、全国や群馬県の中間に位置している。みなかみ町では、青年や壮年の身体を動かしている人は概ね2.7人に1人以上の割合だが、高齢者は2人に1人以上の人が身体を動かしている。これは社協や老人クラブなどが、様々な軽スポーツやレクリエーションを通じて身体を動かすことを奨励していることによる。</p> <p>みなかみ町 全体46.3%、青年36.4%、壮年37.4%、高齢者54.8% 群馬県 全体47.2%、青年51.8%、壮年29.5%、高齢者38.6% 全国 全体45.4%、青年27.7%、壮年42.3%、高齢者53.6% ※青年=20～29歳、壮年=30～59歳、高齢者=60歳以上 ※群馬県の数値は、平成22年度運動・スポーツに関する意識調査による ※全国の数値は、平成21年度体力・スポーツに関する世論調査による</p> <p>②年度別の体育協会登録者数を沼田市体育協会と比較すると、沼田市体育協会よりも高い割合で減少している。</p> <p>みなかみ町 (H23) 22団体・1,930人→(H24) 22団体・1,848人(82人減・95.8%) 沼田市 (H23) 30団体・9,153人→(H24) 30団体・8,935人(218人減・97.6%) ※沼田市体育協会は競技団体の他に、レクリエーション団体、中体連、スポ少を含む人数 ※利根沼田社会教育要覧の各市町村社会教育要覧による</p> <p>③年度別の体育施設利用者数を昭和村と比較すると、割合では低いが施設が多く存在することから、利用者数はみなかみ町が多い。昭和村は村外からの合宿等での利用が増えたことが増加の要因である。</p> <p>みなかみ町 (H23) 130,362人→(H24) 137,209人(6,847人増・105.3%) 昭和村 (H23) 56,716人→(H24) 60,419人(3,703人増・106.5%)</p>
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	<p>①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、平成23年度46.9%から平成24年度46.3%となり、目標値に達しなかった。</p> <p>②体育協会に加盟する団体数は変わらないが、体育協会登録者数はソフトボール協会が休止状態で64人から0人、バレーボール協会が202人から181人、ミニバレー協会が215人から180人に減少するなど7団体で会員数が減少した。しかし卓球協会が85人から98人、野球協会が105人から135人、パドミントン協会が10人から45人となるなど7団体で会員数が増加した。</p> <p>③体育施設の利用者数は、平成23年度と比較して6,847人増加した。これは夏季の合宿等で町外からの利用者が増えたことや、ゲートボールの全国大会やグランドゴルフの関東大会等の大規模な大会が開催されたことによる。</p>
成果実績に対する総括	<p>①住民が活発にスポーツに親しみ、スポーツを通じて住民相互の和やかな人間関係の育成とコミュニケーションや連帯感の向上により、いきいきとした笑顔あふれるみなかみ町を創造するため、みなかみ町スポーツ推進計画を策定した。</p> <p>②スポーツ推進審議会を設置することにより、スポーツの事業実施や奨励等のスポーツの推進に関する調査審議する環境が整った。</p> <p>③平成22年度に開設した緑地公園の人工芝グラウンドの利用者数は、平成23年度に14,243人だったが、平成24年度では13,427人となった。これは部活動での利用者数が減少したことが要因として考えられる。その反面、月夜野総合体育館の利用者数が18,006人→20,706人に伸びており、特に7月～9月の夏季期間での伸びが著しい。</p> <p>④平成20年度から開始した軽スポーツ教室を引き続き開催した。平成23年度からスポーツ吹き矢を導入した結果、体育協会の月夜野支部では講習会や大会を、各地区体育委員会では自主イベントとして取り組まれた。</p> <p>⑤平成19年度から体育協会では協賛金を集め、各支部や競技団体に配分し、町民のスポーツへの取り組みきっかけづくり等を行っている。</p> <p>⑥体育協会の新治支部において、地域のスポーツ活動を円滑に推進する役割を担う地区体育委員が各行政区から推薦され、体制づくりの礎が築かれた。</p>		

		基本事業名	今後の課題	平成26年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1	スポーツ意欲の高揚	スポーツや運動に意欲や関心がない人に身体を動かす楽しさや必要性を理解してもらったり、スポーツや運動に取り組んでいる人には積極的な仲間づくりを促していく。	体育協会の運営や各地区体育委員会の体制整備等を支援する。 スポーツ少年団の活動内容等の情報を提供し、児童生徒のスポーツへの関心や取り組みのためのきっかけづくりを行う。
	2	スポーツ機会の充実	子供から高齢者まで幅広い年齢層の人たちが、多種多様なスポーツに親しめるよう、体育協会やスポーツ推進委員等と連携し、運動教室や各種大会等を開催したり、様々な競技の選手や指導者の確保・育成を支援し、団体競技の活性化を図る。	体育協会やスポーツ推進委員会で取り組んでいる、誰もが気軽に取り組めるスポーツ(スポーツ吹き矢・ノルディックウォーク)の普及・啓発活動を支援する。
	3	スポーツ環境の整備	身近な地域で安全にスポーツが行えるよう、施設の適切な維持管理や機能充実、利便性の向上を図りながら、有効利用を促進する。	水上社会体育館の耐震改修工事の実施設計を作成する。 老朽化がすすむ月夜野ターゲットバードゴルフ場を整備する。

28 生涯スポーツの推進

15-00-000006 大中島公園管理運営事業				担当組織 地域整備課 都市計画グループ				事業費 914,318円								
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 4都市計画費				目 4公園費								
事業概要	対象	大中島公園			意図	利用者が安全に利用出来る状況の確保			手段	各種伝票処理と委託業務事務、管理など。						
	施設面積	平成23年度	平成24年度	単位		施設維持管理上の不具合・トラブル発生件数	平成23年度	平成24年度		単位	管理費(需用費・委託費)	平成23年度	平成24年度	単位		
		25,521	25,521	㎡	0		4 件		786,000		919,000 円					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			
	全体総括		現状では、公園施設の維持、保全管理の事業であるが、施設の老朽化やサービスなど細部の検証も課題となってくる。			今後の改革改善案			指定管理者制度により民間活力を利用し、管理全般を委託管理する。その中で、施設の改修など底上げを実施し、利用者へのサービスと利用率の向上を図りたい。			課題とその解決策			今後、指定管理制度の活用に向けての準備と検証を行う。利用者へアンケートを実施し、サービスの検証を進めていく。	

15-00-000007 湯捨首公園管理運営事業				担当組織 地域整備課 都市計画グループ				事業費 28,281,100円								
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 4都市計画費				目 4公園費								
事業概要	対象	湯捨首公園			意図	利用者が気持ちよく安全に施設を利用出来る状態にする。			手段	各種伝票処理と委託業務事務、管理など。公園用地の購入						
	施設面積	平成23年度	平成24年度	単位		施設維持管理上の不具合・トラブル発生件数	平成23年度	平成24年度		単位	管理費(需用費・委託費)	平成23年度	平成24年度	単位		
		43,850	43,850	㎡	0		3 件		1,214,572		***** 円					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			
	全体総括		現状では、公園施設の維持、保全管理の事業であるが、施設の老朽化やサービスなど細部の検証も課題となってくる。			今後の改革改善案			平成19年4月1日指定管理者制度により民間活力を利用し、管理全般について委託を行っている。その中で、施設の改修など底上げを実施し、利用者へのサービスと利用率の向上を図りたい。			課題とその解決策			今後、指定管理者と連携し利用者へアンケートを実施し、サービスの検証を進めていく。誘客とともに利用料金の変更(町民を含む)も考え指定管理料の削減を進めていく。	

15-00-000010 寺間運動公園管理運営事業				担当組織 地域整備課 都市計画グループ				事業費 551,347円								
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 4都市計画費				目 4公園費								
事業概要	対象	寺間運動公園			意図	利用者が気持ちよく安全に施設を利用出来る状態にする。			手段	各種伝票処理と委託業務事務、管理など。						
	施設面積	平成23年度	平成24年度	単位		施設維持管理上の不具合・トラブル発生件数	平成23年度	平成24年度		単位	管理費(需用費・委託費)	平成23年度	平成24年度	単位		
		198,348	198,348	㎡	0		3 件		627,000		551,347 円					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			
	全体総括		現状では、公園施設の維持、保全管理の事業であるが、施設の老朽化やサービスなど細部の検証も課題となってくる。			今後の改革改善案			平成22年1月1日指定管理者制度により民間活力を利用し、管理全般について委託を行っている。その中で、施設の改修など底上げを実施し、利用者へのサービスと利用率の向上を図りたい。			課題とその解決策			今後、指定管理者と連携し利用者へアンケートを実施し、サービスの検証を進めていく。誘客とともに利用料金の変更(町民を含む)も考え指定管理料の削減を進めていく。	

28 生涯スポーツの推進

15-00-000030 総合公園管理運営事業				担当組織 地域整備課 都市計画グループ				事業費 円					
予算科目 会計 款				項				目					
事業概要	対象	総合公園			意図	利用者が気持ちよく安全に施設を利用出来る状態の確保			手段	直営管理の実施。			
	施設面積	平成23年度	平成24年度	単位		施設維持管理上の不具合・トラブル発生件数	平成23年度	平成24年度		単位	除草作業	平成23年度	平成24年度
										20	20	日	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	現状では、施設の維持、保全管理の事業であるが、今後は施設の老朽化やサービスなど細部の検証も課題となってくる。				今後の改革改善案				課題とその解決策				

34-00-000001 スポーツ少年団活動支援事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 750,000円					
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 7保健体育費				目 1保健体育総務費					
事業概要	対象	町内学童			意図	円滑な活動を支援し、学童スポーツ人口の増加を促す			手段	各加盟団体への活動助成金の交付・各大会参加の事務的援助・上部組織登録への支援			
	町内学童数	平成23年度	平成24年度	単位		各スポーツ少年団参加児童数	平成23年度	平成24年度		単位	助成金額	平成23年度	平成24年度
										992	920	人	
										542	566	人	
										200	200	円	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	スポーツ少年団の支援は、有望な人材育成の面からみても重要な業務であると思われる。				活動助成が現在の主な業務となっているが今後の方向性として、指導者育成等にも力を注いでいくことも重要だと思われる。				スポーツ少年団に加盟する各団体によって、加盟する意図が異なっている。そのような事から全体としての活動が限られてしまっているのが現状である。学童の育成を行う上で町本部が存在する有効性を改めて周知し、全体の活動の活発化を模索する必要があるように思える。				

34-00-000002 体育協会活動支援事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 3,247,317円					
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 7保健体育費				目 1保健体育総務費					
事業概要	対象	町民 町内の競技団体			意図	スポーツに取り組むようになる 体育協会に加盟し、より一層、競技力を向上させる			手段	(1)会議の開催(理事総会①・本部役員会②・常任理事会②・表彰候補者選考委員会①)(2)助成金等の支払 助成金(21件)・活動費(42件)・協賛金(38件)(3)優秀選手等の表彰(98名を表彰)			
	町民の数	平成23年度	平成24年度	単位		登録者数	平成23年度	平成24年度		単位	大会・教室等の事業数	平成23年度	平成24年度
										21,670	21,285	人	
										1,930	1,848	人	
										61	68	回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	事務量の軽量化のための方法・手段の検討や協会本部の自主性の確立、競技団体・支部の取組方の統一を図ってきたが、更に進めていきたい。				①加盟団体数の増を図る。 ②他の団体との連携を図る。 ③行事等の周知の徹底を図る。 ④体を動かす人の割合を上げる ⑤事務量の軽量化を図る。				①総合型地域スポーツクラブとの連携。				

28 生涯スポーツの推進

34-00-000003				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 2,638,044 円					
スポーツ推進委員会事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 1保健体育総務費			
事業概要	対象	町民 (みなかみ町スポーツ推進)		意図	スポーツ推進の活動を円滑かつ効率的に行ってもらい、結果的に町民の生涯スポーツ志向の定着を図る				手段	町スポーツ推進委員会会議の開催9回 軽スポーツの普及活動2回 郡スポーツ推進委員活動4回 県スポーツ推進委員活動11回 関東スポーツ推進委員会活動1回 全国スポーツ推進委員活動1回 町内団体への事業協力4回 その他、委員が個別に地域団体等へ生涯スポーツ行事等を通して協力を行っている。			
	スポーツ推進委員	平成23年度	平成24年度		単位	活動回数	平成23年度	平成24年度		単位	活動回数	平成23年度	平成24年度
		28	26	人		30	32	回		30	32	回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	スポーツ推進委員の責務については重要であり、また最もスポーツ人口の増加や健康増進に有効的だと思われる。				住民の健康増進やスポーツ人口の底辺拡大を担う組織として、軽スポーツ講習会を率先して行う意識を更に定着させていくべきと思われる。				根拠法令改正により、名称や責務が改められたことが委員の意識を変える一つのきっかけとなった。また、平成24年度に策定したスポーツ推進計画で、その職務や今後の方向性を明記できた。今後はそれに基づいて、委員が積極的に活動できる体制整備を同時に行っていく必要がある。				

34-00-000004				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 円					
県オープニング大会参画事業				予算科目 会計		款		項		目			
事業概要	対象	町民		意図	県の政策として「生涯スポーツ」の振興が位置づけられていることを周知する				手段	県事務局との連絡調整・町内各団体への参加依頼、連絡調整・その他参加準備			
	人口	平成23年度	平成24年度		単位	町内参加者数	平成23年度	平成24年度		単位	事務従事時間数	平成23年度	平成24年度
		21,670		人		70		人		160	0	時間	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		- 目的妥当性		- 有効性		- 効率性		- 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策				

34-00-000005				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 368,320 円					
スポーツ教室事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 1保健体育総務費			
事業概要	対象	町民		意図	気軽にスポーツに親しんでもらう。				手段	教育委員会主催の教室や講習会の実施			
	人口	平成23年度	平成24年度		単位	参加人数	平成23年度	平成24年度		単位	実施数	平成23年度	平成24年度
		21,670	21,000	人		443	41	人		8	3	回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	一層の事業向上を図る必要がある。				スポーツ推進計画に基づいた事業実施が望まれる。				教育委員会のみならず、関係団体や関係行政部署との連携を促すことで参加者の増大や、内容の充実等が図られ、結果として効果向上が見込まれるため、そのための体制整備が必要。				

28 生涯スポーツの推進

34-00-000006				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 2,620,022 円						
町民体育祭事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 1保健体育総費				
事業概要	対象	町民並びに大会参加者			意図	現在スポーツに親しんでいる人は継続を促し、遠のいている人にはスポーツに親しむきっかけを作る。			手段	説明会の開催・関係団体との協議及び連絡調整、開催に向けた準備 体育祭実施				
		人口	平成23年度	平成24年度		単位	参加率	平成23年度		平成24年度	単位	会議等開催回数	平成23年度	平成24年度
			21,670	21,000	人		11.4	12.7	%	5	5	回		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × × × ×			
全体総括		合併後間もない事及び社会体育に対する旧町村間の温度差等もあるため、地域によって要望や参加人数に相違があるのが現状。いかに住民に定着をさせ、参加者を増やしていくかといった事が今後の課題だと思われる。			今後の改革改善案			合併後の開催回数も少ないことから、今後も引き続き検討を重ね、有効かつ効率的な運営が行えるように努力を重ねることが必要。			課題とその解決策		かねてより課題とされていた各地区におけるスポーツ推進体制の相違について、スポーツ推進計画において統一化が図られることとなり、今後は町民体育祭への参加体制も含め地域活動の推進をしていくことが必要になってくる。	

34-00-000007				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 1,391,659 円						
プール開放事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 2体育施設費				
事業概要	対象	町民、町外者			意図	安全で安心して水に親しむ場所を提供。水の中で身体を動かすことの楽しさを知ってもらう。			手段	7月21日～8月24日までの2施設で52日間(午後1時～3時まで)プールの開放を行った。				
		町民の数	平成23年度	平成24年度		単位	利用者数	平成23年度		平成24年度	単位	開放プール数	平成23年度	平成24年度
			21,670	21,526	人		2,293	2,649	人	2	2	箇所		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × × × ×			
全体総括		事故が起こらないよう安全性の確保(監視体制・修繕等)を第一に考え、施設を気持ちよく利用者が利用できるよう取り組みをしてきた。			今後の改革改善案			休止・廃止を検討している。			課題とその解決策		学校や協力近隣市町村との連携。	

34-00-000008				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 18,169,276 円						
体育施設管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 2体育施設費				
事業概要	対象	社会体育施設			意図	スポーツ施設として利用できる状態にしておく。			手段	施設整備、施設周辺等の清掃、施設破損箇所の修繕等。				
		修繕が必要な体育施設の数	平成23年度	平成24年度		単位	体育施設利用者数	平成23年度		平成24年度	単位	施設の数	平成23年度	平成24年度
			1	1	箇所		130,362	137,209	人	39	39	箇所		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		× 目的妥当性		× 有効性		× 効率性		○ 公平性		コスト			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × × × ×			
全体総括		計画的な統廃合は必要。			今後の改革改善案			施設の統廃合等の検討を進め、管理体制(指定管理等)を見直す。			課題とその解決策		関係者への説明・理解	

28 生涯スポーツの推進

34-00-000009				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 5,565,807円					
総合体育館管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 2体育施設費			
事業概要	対象 町民	人口		平成23年度		平成24年度		施設利用者数		平成23年度		平成24年度	
				21,670	21,526	人	18,006			20,706	人		
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	
		利用しやすい環境を整える。		今後の改革改善案 平成25年度に大規模な改修が予定されているので、その間細かな修繕を積み重ねていく。		課題とその解決策 財政的な面が大きいため、財政との調整が必要。							

34-00-000010				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 5,045,150円					
新治B&G海洋センター管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 2体育施設費			
事業概要	対象 町民・児童生徒	町人口		平成23年度		平成24年度		利用者数		平成23年度		平成24年度	
				21,670	21,526	人	13,012			12,550	人		
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	
		海洋センターの施設についてはある程度有効に利用をされているように思う。しかし、交流事業への参加率が低い。		今後の改革改善案 施設自体は比較的有効に利用をされているが、交流事業の参加やB&G海洋センターならではの取り組みといったところが不十分だと思われる。		課題とその解決策 海洋センターならではの取り組みとして、水を通じた町民の健康増進支援、子供たちの学習や体験の支援といった事があげられるが、それを行うためには専属の育成士がおらず、また過去に育成士を取得した人材が全て他の部署に配属されてしまっている。また、海洋センターのプールが屋外プールであり夏以外には使用できないことも有効な役割を果たせない一因だと思われる。ただしそれらを改善するには莫大な費用と人員を要することから現状の施設でいかに独自の取り組みを行っていくかを模索する事が必要。							

34-00-000011				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 205,973円					
水上社会体育館管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 2体育施設費			
事業概要	対象 町民	人口		平成23年度		平成24年度		施設利用者数		平成23年度		平成24年度	
				21,670	21,526	人	14,283			17,402	人		
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	
		施設を安全で安心して常時利用できる状態にしておくための維持管理が必要である。		今後の改革改善案 耐震補強と併せて老朽箇所への修繕。耐震診断を平成25年度行う。		課題とその解決策 施設の安全性等の点検。							

28 生涯スポーツの推進

34-00-000014				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 150,000円				
スポーツ振興団体活動費補助事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 1保健体育総務費		
事業概要	対象	町民		意図	町民のスポーツ推進を図る				手段	①ターゲットバードゴルフ協会推進事業（ターゲットバードゴルフ協会） ②月夜野・新治グランドゴルフ合同大会（グランドゴルフ協会）		
	人口	平成23年度	平成24年度		単位	事業の実施数	平成23年度	平成24年度		単位	申請数	平成23年度
		21,670	21,285	人		2	2	件		2	2	団体
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	
	全体総括	認知度が低いためか、事業申請件数が前年度と同数となった。広報等で更に周知を強化し、申請件数が増えるよう努力する。				今後の改革改善案	周知の方法。				課題とその解決策	新治地区や水上地区における地域のスポーツ推進体制の整備を、体育協会の各支部やスポーツ推進委員会と協働で取り組む。

34-00-000019				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 円				
スポーツ推進計画策定事業				予算科目 会計		款		項		目		
事業概要	対象	スポーツ推進計画の策定		意図	推進計画に基づいた施策の達成				手段	資料・情報の収集、作業部会の立ち上げ、スポーツ推進審議会の設立		
	スポーツ推進計画の策定状況	平成23年度	平成24年度		単位	各地域体育委員会の設立	平成23年度	平成24年度		単位	推進計画の策定に伴う会議数	平成23年度
		0.5	100	%		1	2	地区		1	6	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	
	全体総括	策定についてはほぼ予定どおり実施できた。今後は計画に基づいた事業遂行がメインになってくる。				今後の改革改善案	平成24年度は策定することが目標であったが今後は策定された計画に基づいた業務遂行が求められ、町民アンケートでの週1回以上のスポーツ実施率を検証していくことや、平成29年度には町民意識調査を実施し計画の見直しを行うことが必要となってくることから業務量等は増加していくと考えられる。				課題とその解決策	今回策定した「スポーツ推進計画」を広く関係機関や行政部署等に周知し、共通の認識や意識に基づいて取り組みが行えるよう努めていくことが求められる。

34-00-000020				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 583,607円				
スポーツ推進審議会運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 1保健体育総務費		
事業概要	対象	町民		意図	スポーツ推進審議会の円滑な運営				手段	スポーツ推進審議会の開催		
	町民の数	平成23年度	平成24年度		単位	審議会での審議件数	平成23年度	平成24年度		単位	会議の開催回数	平成23年度
		21,670	21,285	人			13	件			3	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	
	全体総括	社会体育施設を整備する場合、様々な意見や要望などが出されることが想定され、それらの意見を調整・協議する場合、審議会の開催回数が増える恐れがある。				今後の改革改善案	会議の開催時間や円滑な進捗に努める				課題とその解決策	会議資料等の事前送付により速やかな議事進行が望めるが、内容によっては意見調整に時間を要することがある。

28 生涯スポーツの推進

34-00-000021				担当組織 総合政策課 企画グループ				事業費 0円					
地域スポーツ施設整備事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 2体育施設費			
事業概要	対象	町民・otoの支援を受けられるサッカー場2面			意図	快適にスポーツを行う環境を整備する同所に2面を整備する			手段	11月～ ①昭和村・川場村サッカー場現地調査、②埼玉県廃棄物最終処分場跡地利用実績現地調査、③利害関係調整、④県協議、⑤oto助成金交付申請等			
		サッカー協会員(ジュニア含む)	平成23年度	平成24年度		単位	整備率	平成23年度		平成24年度	単位	助成金申請件数	平成23年度
			191	0	人		0	0	%		3	0	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 増加	成果 向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×					
	全体総括	本業務は地域スポーツ振興施設(サッカー場)を整備し、地域スポーツの振興によって地域の活性化を目指す施設である。公の施設を増やすことは、維持管理費が増大することを意味しており将来の負担にならないよう運営面についても配慮することが求められている。			今後の改革改善案	施設整備を最小限の費用でできるよう工夫する必要がある。今後は活用しやすく効果的な使用に耐えうる整備を行うために検討を続けていく。			課題とその解決策	・地域住民が納得する説明ができるように、事業内容を検討していく必要がある。			

34-00-000022				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 0円					
総合型地域スポーツクラブ活動支援事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 7保健体育費		目 1保健体育総務費			
事業概要	対象				意図				手段				
			平成23年度	平成24年度		単位		平成23年度		平成24年度	単位		平成23年度
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		- 目的妥当性		- 有効性		- 効率性		- 公平性		コスト		
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 増加	成果 向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×					
	全体総括	月夜野スポーツクラブは、諸々の課題により経営に行き詰まってきたことから、規模を縮小しながら活動を継続的に展開していた。また、法人格取得を目的に事業展開することが予定されていたため、TOTOが募集している【総合型地域スポーツクラブ創設支援事業】に申請し交付決定となったが、TOTOから創設済みのクラブが創設支援事業の助成を受けることができるのかという外部からの照会を受け、その結論を説明することが必要になったとの申出により再三にわたり協議したが、結果として交付決定が取り消されたため、町が支援することができなくなった。			今後の改革改善案	人々が、身近な地域でスポーツに親むことのできる新しいタイプのスポーツクラブとして国が全国の市町村に最低でも一つは設置することが望ましいと公言していることから、町内にある既存のクラブを支援していくことが求められている。			課題とその解決策	月夜野スポーツクラブは、国庫補助により設立したため、新たな組織を創設するために国・県等の他団体からの助成を得ることができない。そのため町の単独事業(文化・体育振興費補助)で、既存の団体を支援することが望ましい。			

施策マネジメントシート(平成24年度の振り返り、総括)

作成日 平成 25 年 6 月 18 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	教育課
				課長	岡田 宏一
施策	29	文化財の保存と活用	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
			2 文化財の活用	町民	文化財に関心を持ち、重要性を知る。
			3		
			4		
			5		

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				A	文化財の保護活動参加者数	人	実績値	-	320	
			目標値		320	320	320	320	320	320
B	地域の伝統芸能に参加している町民の割合	%	実績値	10.7	11.1					
			目標値		10.8	11.0	11.2	11.4	11.6	11.8
C	保護・継承されている指定文化財の数	件	実績値	96	96					
			目標値		97	98	98	99	99	100
D	地域で継承されている伝統芸能の数	件	実績値	30	30					
			目標値		30	30	30	30	30	30
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課が毎年保護活動に対する謝礼を支払う際に年間の活動実績を調査
 指定文化財で維持管理に経費の生じるもの(指定文化財全体の約4割)については管理者に対して実績報告に基づき謝金(5,000円~10,000円)を支払っている。

B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 町民アンケートにより把握
 ※あなたは日頃、文化芸術に触れ親しんでいますか。→「地域の伝統芸能(祭りや神楽、獅子舞など)に参加する」と回答した人の割合

C) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課で実数を把握

D) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課が毎年保存会等代表者に直接聞き取り調査を実施

目標値設定の考え方

A) 地区や神社の役員などがこれに当たるが、年々減少の傾向にあり、成り行き値は2年ごとに5人ほど減少すると予想される。文化財の啓発普及活動を活発にするなど郷土愛とともに地元の文化財を自分たちで保護するという考え方を広める工夫を行うことなどにより現状を維持する。

B) 伝統芸能の本来の意味に賛同し、継承に新たに保ってくれる人を確保するのは困難であり、高齢化が進行するため、伝統芸能の保護継承に携われる人が徐々に減少するのではないかと。一方で、地域の伝統芸能を継承するためには一定の人数が必要。現状でもぎりぎりの状態であり、現在の人数(約2,300人)を維持しようとする、人口減少を考慮して平成29年度に11.8%をめざす。

C) 今後、指定文化財として指定される可能性のあるものが数件ある。文化財保護委員の活動が活発であり、増加する可能性が高い。2年に1件のペースで増やし、平成29年度に100件をめざす。【沼田市:93件(H24)、片品村:55件(H24)、川場村:11件(H24)、昭和村:21件(H24)】

D) 現在のところ教育委員会で把握している地域の伝統芸能(太々神楽、獅子舞など)は30件である。いずれも人員・予算的にギリギリの状態であるが、参加者を地域の地区以外からも募集するなど様々な工夫をこらして継承している。多少なりとも教育委員会として応援し、現状を維持することを目標とする。

施策のための目的・役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①身近にある地域文化や文化財に関心を持ち、その重要性を認識するとともに、保護・啓発に努める。 ②地域の伝統行事に積極的に参加し、後世に継承する。 ③保護行政の理解・協力を努める。	①文化財に関する情報を発信するなど、町民の意識啓発を行い、郷土や歴史への認識を深める。 ②建物・史跡・美術工芸・天然記念物等の有形文化財を調査し保護管理する。 ③文化財の保護活動や後継者の育成を支援するなど、地域文化の継承を推進する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①全ての文化財で、文化財保存管理計画(管理・活用方法)を作成することになった。ここ数年での変更。計画を作成することで、活用の幅が広がることできる。 文化財の老朽化が進んでいる。ここ数年のうちに補修が必要となるものが、特に多くある。 ②新しい指定文化財が増えていくと考えられる。町の場合は、文化財調査委員が答申し、教育委員会が指定。 ③人口減少や少子高齢化により、伝統芸能の継承者が減少。後継者育成が困難な状態になる。	①文化財等の保存意識の強い住民から、伝統行事の衣装や備品、文化財の修繕に関する要望が多い。 ②文化財の公開の仕方を考えてほしい。

施策	29	文化財の保存と活用	主管課	名称 教育課
				課長 岡田 宏一

		実績比較	背景・要因
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①地域の伝統芸能に参加している町民の割合は、平成20年度32.7%、平成21年度34.2%、平成23年度10.7%と大幅に減少した。これはアンケートの設問や選択肢の違いによるところが大きいと考えられ、地域の行事等には気軽に参加できるが、伝統芸能となると敷居が高く限られた人の活動という意識があり、日頃から親しむという感覚はないのではないかと考えられる。また、平成24年度には広報みなかみで春祭り等の地域の伝統行事の日程を掲載したこともあり、11.1%と若干増加した。 ②指定文化財数は、平成21年度以降96件で増減していないが、平成23年度において1件が県の指定を解除され、1件が新たに町の指定を受けた。その結果、平成24年度は町・県・国指定の合計は96件である。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①近隣自治体と比較して、指定文化財の数は多い。要因として町民の歴史に対する意識が高いことも考えられる(実際に歴史的遺産を文化財指定するかしないかは文化財調査委員や教育委員会が判断)が、三國街道があったことが大きな要因と思われる。街道沿いには文化財が多い。 ※平成25年4月1日現在の各市町村の指定文化財数 みなかみ町 国：8 県：21 町：67 計：96 沼田市 国：5 県：14 市：75 計：94 片品村 国：3 県：6 村：46 計：55 川場村 国：1 県：5 村：5 計：11 昭和村 国：0 県：2 村：19 計：21
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①指定文化財については毎年1件ずつ増やしていく計画だったが24年度は実現できなかった。理由として、「真田熊之助の墓」を指定する予定だったが調査の結果、墓ではない可能性が高かったため、指定を断念した。
成果実績に対する総括	①古馬牧人形浄瑠璃は利根沼田伝統古典芸能祭や小中学校伝統芸能教室で公演するなど、公演回数が年々増えている。これらの活動が文化財の保護継承活動につながっている。 ②県・国指定史跡・天然記念物の整備を行うためには文化財ごとに保存管理計画を策定する必要があることから、名胡桃城址保護整備委員会を開催し、専門的協議を重ね、調査報告・保存管理計画を刊行した。次年度以降に実際の史跡整備にとりかかる。		

		基本事業名	今後の課題	平成26年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1	文化財の保存	町内に在る文化財は老朽化が目立ち、文化財保存または安全管理上補修をする必要がある。	矢瀬遺跡については平成26年度に国庫補助により史跡公園の補修工事を行う。旧戸部家住宅については27年度以降に茅葺き屋根の葺き替えを行えるよう準備をはじめる。
	2	文化財の活用	歴史ガイドの会は町内の歴史遺産をすべて視野に入れてガイドを行うことを目標にしているため、文化財活用のためには関係機関のすべてと連携を図る必要がある。 資料館入館者数の増加は文化財の啓発普及の促進に繋がるため、より多くの人に資料館をはじめ町内の文化財を見学する機会を増やす。	平成21年に発足した「歴史を活かしたまちづくり事業実行委員会」であるが、現在活動を休止している。これを再稼働し、事務局として積極的に関わっていく。まちづくりの中で歴史を活かすことにより、観光客だけでなく、町民が文化財に関わる機会を増やす。 資料館の展示品にわかりやすい説明文をつける。また、積極的に学校の見学受け入れる。
	3			
	4			

29 文化財の保存と活用

36-00-000001				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 2,410,587円																														
月夜野郷土歴史資料館管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 3社会教育施設費																												
事業概要	対象 ①町民 ②観光客	意図		町内の歴史・文化を知り、その重要性を知る。				手段	*管理人を雇い毎週日曜に開館 *月夜野地区小学生が授業で来館し、案内した。 *重要な収蔵物を研究者等に公開																													
		人口	平成23年度 21,618	平成24年度 21,218	単位 人	来館者数	平成23年度 115		平成24年度 203	単位 人	開館日	平成23年度 51	平成24年度 52	単位 日																								
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 <table border="1"> <tr><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>		向上				維持		○	×	低下		×	×	コスト		<table border="1"> <tr><td>削減</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>×</td></tr> <tr><td>増加</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>		削減				維持		○	×	増加		×	×
	向上																																					
維持		○	×																																			
低下		×	×																																			
削減																																						
維持		○	×																																			
増加		×	×																																			
全体総括		代替の場所を見つけ、現在ある施設の処理方法を検討する必要がある。資料館の場所を移す必要はあるが、資料館施設自体は存続させなければならないと考える。		今後の改革改善案		代替の場所を見つけ、現在ある施設の処理方法を検討する必要がある。		課題とその解決策		撤去費用が高額であり、その計上方法を検討しなければならない。																												

36-00-000002				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 196,227円																														
文化財調査委員会事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 4文化財保護費																												
事業概要	対象 ①町民 ②町内の文化財	意図		①指定文化財の認識 ②保存管理と活用				手段	*文化財調査委員会の開催*文化財の指定*補助事業(月夜野神社本殿屋根修繕/古馬牧の人形浄瑠璃後継者育成)																													
		人口	平成23年度 21,618	平成24年度 21,218	単位 人	資料館を含む主な文化財の見学者数	平成23年度 2,885		平成24年度 2,508	単位 人	文化財調査委員招集回数	平成23年度 2	平成24年度 3	単位 回																								
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 <table border="1"> <tr><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>		向上				維持		○	×	低下		×	×	コスト		<table border="1"> <tr><td>削減</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>×</td></tr> <tr><td>増加</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>		削減				維持		○	×	増加		×	×
	向上																																					
維持		○	×																																			
低下		×	×																																			
削減																																						
維持		○	×																																			
増加		×	×																																			
全体総括		文化財調査委員との連携を強め、文化財活動を促進する必要がある。また、担当者による専門的な研究が文化財のさらなる啓発普及につながる。		今後の改革改善案		文化財調査委員と町内の文化財巡視を行い、潜在的な文化財の発見等につとめる。		課題とその解決策		担当者の専門性を高める。																												

36-00-000003				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 269,574円																														
町指定文化財管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 4文化財保護費																												
事業概要	対象 ①町民 ②指定文化財	意図		①指定文化財の認識 ②保存管理と活用				手段	*町指定文化財のうち管理に経費のかかるものについて管理者等へ管理委託料を支払う。(平成24年度より委託料から謝金へ変更。)*町指定文化財で個人・団体の管理者が存在しないものの維持管理。																													
		人口	平成23年度 21,618	平成24年度 21,218	単位 人	月夜野郷土歴史資料館見学者数(町指定文化財を展示している)	平成23年度 115		平成24年度 203	単位 人	管理委託をする文化財の件数	平成23年度 25	平成24年度 25	単位 件																								
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 <table border="1"> <tr><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>		向上				維持		○	×	低下		×	×	コスト		<table border="1"> <tr><td>削減</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>×</td></tr> <tr><td>増加</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>		削減				維持		○	×	増加		×	×
	向上																																					
維持		○	×																																			
低下		×	×																																			
削減																																						
維持		○	×																																			
増加		×	×																																			
全体総括		現在、所有者へ管理に関わる年間委託料を支払っているだけであるが、より積極的な指導、啓発普及活動につとめる必要がある。		今後の改革改善案		文化財調査委員と連携して指定文化財をもっと巡視し、積極的な啓発普及活動を行う必要がある。		課題とその解決策		担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。																												

29 文化財の保存と活用

36-00-000004				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 4,044,978円																			
県指定文化財管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 4文化財保護費																	
事業概要	対象	①町民 ②指定文化財		意図	①指定文化財の認識 ②保存管理と活用				手段	*県指定文化財のうち管理に経費のかかるものについて管理者等へ管理委託料を支払う*名胡桃城址保存整備委員会を2回開催																	
	人口	平成23年度	平成24年度		単位	主な文化財の見学者数(名胡桃城址)	平成23年度	平成24年度		単位	管理委託をする文化財の件数	平成23年度	平成24年度	単位													
<table border="1"> <tr> <td>廃止・休止等</td> <td>○ 目的妥当性</td> <td>× 有効性</td> <td>○ 効率性</td> <td>○ 公平性</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 </td> <td> <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し </td> <td> <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 </td> <td> <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 </td> <td> <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 </td> <td> 削減 維持 増加 </td> <td> 向上 維持 低下 </td> <td> <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × </td> </tr> </table>												廃止・休止等	○ 目的妥当性	× 有効性	○ 効率性	○ 公平性	コスト			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加	向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×
廃止・休止等	○ 目的妥当性	× 有効性	○ 効率性	○ 公平性	コスト																						
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加	向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×																				
全体総括	現在、所有者へ管理に関わる年間委託料を支払っているだけであるが、より積極的な指導、啓発普及活動につとめる必要がある。			今後の改革改善案	文化財調査委員と連携して指定文化財をもっと巡視し、積極的な啓発普及活動を行う必要がある。			課題とその解決策	担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。																		

36-00-000005				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 100,426円																			
国指定文化財管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 4文化財保護費																	
事業概要	対象	①町民 ②指定文化財		意図	①指定文化財の認識 ②保存管理と活用				手段	*矢瀬遺跡、水上石器時代住居跡、雲越家住宅を中心とした史跡の維持管理作業 *全国史跡整備市町村協議会事務																	
	人口	平成23年度	平成24年度		単位	主な文化財の見学者数(雲越家住宅・旧戸部家住宅)	平成23年度	平成24年度		単位	管理をする文化財の件数(雲越家、旧戸部家、石器時代、矢瀬)	平成23年度	平成24年度	単位													
<table border="1"> <tr> <td>廃止・休止等</td> <td>○ 目的妥当性</td> <td>× 有効性</td> <td>○ 効率性</td> <td>○ 公平性</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持 </td> <td> <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し </td> <td> <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 </td> <td> <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 </td> <td> <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 </td> <td> 削減 維持 増加 </td> <td> 向上 維持 低下 </td> <td> <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × </td> </tr> </table>												廃止・休止等	○ 目的妥当性	× 有効性	○ 効率性	○ 公平性	コスト			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加	向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×
廃止・休止等	○ 目的妥当性	× 有効性	○ 効率性	○ 公平性	コスト																						
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加	向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×																				
全体総括	現在、草刈り、修繕等の維持管理にとどまっているが、積極的な啓発普及活動も推進する必要がある。平成12年度に史跡公園になった矢瀬遺跡は10年以上経過したことにより、至る所で老朽箇所が目立つようになってきた。町の文化財のシンボルともいえる重要な史跡であるため、大規模な原状復帰作業が必要と思われる。			今後の改革改善案	文化財調査委員と連携して指定文化財をもっと巡視し、積極的な啓発普及活動を行う必要がある。			課題とその解決策	担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。また、矢瀬遺跡は国庫補助事業により大規模な原状復帰作業を行う必要がある。																		

36-00-000006				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 0円																			
埋蔵文化財調査事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 4文化財保護費																	
事業概要	対象	登録されている遺跡		意図	現状で保護される。または記録保存される。				手段	*発掘調査 1件(携帯電話アンテナ建設に伴う緊急発掘調査)*開発等に伴う埋蔵文化財包蔵地確認事務																	
	遺跡	平成23年度	平成24年度		単位	発掘調査数	平成23年度	平成24年度		単位	埋蔵文化財包蔵地確認(照会)	平成23年度	平成24年度	単位													
<table border="1"> <tr> <td>廃止・休止等</td> <td>○ 目的妥当性</td> <td>× 有効性</td> <td>○ 効率性</td> <td>○ 公平性</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持 </td> <td> <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し </td> <td> <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 </td> <td> <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 </td> <td> <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 </td> <td> 削減 維持 増加 </td> <td> 向上 維持 低下 </td> <td> <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × </td> </tr> </table>												廃止・休止等	○ 目的妥当性	× 有効性	○ 効率性	○ 公平性	コスト			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加	向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×
廃止・休止等	○ 目的妥当性	× 有効性	○ 効率性	○ 公平性	コスト																						
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加	向上 維持 低下	<input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> ×																				
全体総括	専門性の高い分野の業務であり、担当者の日常的な調査研究が必要である。			今後の改革改善案	過去の出土遺物を一般公開する。			課題とその解決策	いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備しておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならない。																		

29 文化財の保存と活用

36-00-000007 水上歴史民俗資料館管理運営事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		19,979円			
予算科目 会計 一般会計				款 10教育費		項 6社会教育費		目 3社会教育施設費					
事業概要	対象	町民・観光客			意図	町内の歴史・文化を知り、その大切さについて考える。			手段	一般公開 休館日 月・祝日・年末年始			
		人口	平成23年度 21,618	平成24年度 21,218		単位 人	来館者数	平成23年度 1,608		平成24年度 1,350	単位 人	開館日	平成23年度 304
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			今後の改革改善案 専門的なことを調査研究し、展示内容を変更していく。			課題とその解決策 専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門との提携、より一層の展示内容の工夫が必要。			コスト		削減 維持 増加	
	全体総括 これ以上の削減は不可能であり、経費をかけずに展示内容を充実させたい。			今後の改革改善案 専門的なことを調査研究し、展示内容を変更していく。			課題とその解決策 専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門との提携、より一層の展示内容の工夫が必要。			成果		向上 ○ 維持 ○ 低下 ×	

36-00-000009 雲越家住宅資料館管理運営事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		534,723円			
予算科目 会計 一般会計				款 10教育費		項 6社会教育費		目 3社会教育施設費					
事業概要	対象	町民・観光客			意図	町内の歴史・文化を知り、その重要性を知る。			手段	一般公開 開館日 土・日・祝日			
		人口	平成23年度 21,618	平成24年度 21,218		単位 人	来館者数	平成23年度 455		平成24年度 410	単位 人	開館日	平成23年度 76
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			今後の改革改善案 地域住民の協力をあおぎ、体験学習を行うなどの改善が必要。			課題とその解決策 地域住民の協力と観光部局との連携			コスト		削減 維持 増加	
	全体総括 これ以上の削減は不可能であり、経費をかけずに内容を充実させたい。			今後の改革改善案 地域住民の協力をあおぎ、体験学習を行うなどの改善が必要。			課題とその解決策 地域住民の協力と観光部局との連携			成果		向上 ○ 維持 ○ 低下 ×	

36-00-000010 永井宿郷土館管理運営事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		500,000円			
予算科目 会計 一般会計				款 10教育費		項 6社会教育費		目 3社会教育施設費					
事業概要	対象	町民・観光客			意図	町内の歴史・文化を知り、その重要性を知る。			手段	指定管理事務			
		人口	平成23年度 21,618	平成24年度 21,218		単位 人	来館者数	平成23年度 707		平成24年度 545	単位 人	開館日	平成23年度 185
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			今後の改革改善案 専門的なことを調査研究し、展示内容を変更していく。			課題とその解決策 指定管理しているため、基本的には展示内容等を含め永井区に委託している。			コスト		削減 維持 増加	
	全体総括 これ以上の削減は不可能であり、経費をかけずに展示内容を充実させたい。			今後の改革改善案 専門的なことを調査研究し、展示内容を変更していく。			課題とその解決策 指定管理しているため、基本的には展示内容等を含め永井区に委託している。			成果		向上 ○ 維持 ○ 低下 ×	

29 文化財の保存と活用

36-00-000013				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 10,000円					
県博物館連絡協議会参画事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 3社会教育施設費			
事業概要	対象	*加入している町内の資料館			意図	*他市町村の資料館と連携することにより、展示内容等を充実させる。			手段	*総会(年1回)*会費の支払い事務*資料館活動状況の報告			
		加入資料館数	平成23年度	平成24年度		単位	入館者数	平成23年度		平成24年度	単位	会費の支払い	平成23年度
			1	1	館		115	203	人		10,000	10,000	円
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 増加		
	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 低下										<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 増加		
全体総括		事業費が少なく、資料館の資質向上に役立つため、現状維持が妥当であると思われる。			今後の改革改善案		研修会に積極的に参加する必要がある。			課題とその解決策		専門的な学芸員(資料館・博物館専門員)がいないため、この業務を専属でできる職員がいない。	

5. 学識経験者の意見等

【学校教育部門】

平成24年度本町の一般会計当初予算は、128億8千万円が計上されている。町民1人当たりになると598千円の予算額となる。人口21,532人（H24.4.1現）の町にとって1人当たりの予算額は、隣接する沼田市に比較すると大きく上まわっている。歳出では民生費、公債費に次いで、教育費が総額の14.3%（18億4千万円）を占めている。小・中学校の耐震工事は早々と終了したが、社会教育施設、体育施設に大きな額が計上されている。いつの時代においても教育に係わる費用は大きく、又、それだけ教育の重要性が深く認識されている為と言える。本町の24年度学校教育方針は「生きる力」を鍛え、育む教育を基本理念としている。

こうした教育方針の中で、学力、及び体力テスト、学校が楽しいと感じている児童生徒、不登校児童生徒等を検証してみる。

○学力テスト

学習到達度で概ね学習内容を理解している児童生徒の割合は80%で前年度とほぼ同じ結果となっている。しかしながら学校間格差が顕著になりつつあると言われ心配される。偏差値で見ると県平均を上回り比較的高い水準にあるが、新学習指導要領が小・中学で完全実施されている現在、本町の目標値である81%を上回るよう期待したい。

○体力テスト

全国平均値は50ポイントであり本町は同水準にある。しかしながら全国的に体力は低下する傾向にあると言われる。本町でも新治地区が低いと懸念されているが、スクールバスの導入等に原因があるとすれば、今後水上地区においても同じことが心配される。各学校間での工夫や取り組みの強化を目指してほしい。

○学校が楽しいと感じる児童生徒

前年度に比較して児童が2ポイント減、生徒は逆に3ポイント上昇し共に90ポイントの高い水準となっている。週5日制はゆとり教育路線として、2002年度にスタートしたが、新学習指導要領の改正等により土曜授業へ転換する自治体が増えつつあると言う。いずれにしても楽しい学校生活が送れることは誰もの願いである。時には厳しく時には優しく規律ある殿堂としての学校であってほしい。

○不登校児童生徒

前年度の18名から6名減少し12名となり大きな成果が出ている。23年度全国平均の割合が1.5%、県が1.06%、本町は1.01%であったが24年度の本町の割合が0.79%となっている。このことは学校の教

職員による家庭訪問やスクールカウンセラーの活躍が大きいという。不登校はいくつかの要因が重なっていると思われるが、その中にいじめの問題はなかったか心配される。関係機関と連携を益々強め不登校児童生徒のさらなる減少に取り組んで頂きたい。

○少子化問題

児童生徒の減少が目を見詰めるような数字となっている。これは本町に限らず全国的に言われることである。平成24年4月1日現在本町の人口ピラミッドでは0才児93名、就学児123名、中学生1年生193名となっており、中学1年生の人数に対して0才児は激減している。この問題は昨年も取り上げられていたが町全体の問題として、長期展望にわたる政策が求められよう。

【生涯学習部門】

1 生涯学習の推進

「日頃から生涯学習を行っている町民の割合」が、平成23年度の35.5%から平成24年度の27.4%と減少している。年代別では高齢者に比べて若い層は低い状況にある。これについては、仕事や家事などに追われ、学習に参加する時間的ゆとりのもてないことが要因の一つとして考えられる。

各年代のニーズに応じた学習内容を時期や時間帯等を考慮して参加しやすい機会を提供できるように努め、学習への働きかけを積極的に行っていくことが必要である。特に若い年代については、関係機関・団体との連携も視野に入れながら、時代に即応したものや、仕事・家事・育児等に資する学習内容を検討するなど、実態に即した施策が必要ではないか。

三町村の合併以来、町民の学びや各種活動の拠点である公民館事業が低迷しており、その在り方が見直されている。町民の生涯学習に対する意識の高まりや学習機会の充実が求められている現在、利便性の高い施設の整備を図るとともに、公民館事業の活性化に努めることは言を俟たないところである。自主的な学習グループの活動を支援することはもとより、一般町民の手軽に学べる魅力ある講座づくり等、特にソフト面に力を入れた今後の意図的・計画的な公民館事業に期待したい。

昨今、青少年を中心に活字離れや読書離れが進み、大きな社会問題にまでなっており、全国的にその対策で頭を悩ませているところである。

みなかみ町の図書室利用者が平成23年度の6,624人から平成24年度の7,259人へと増加している状況にあることは、町の利用者に対するサービス向上の表れとして大変喜ばしいことである。それだけに、更なる利用者拡大に向けて、町民の幅広い年代層の要望に応えるべくより一層の図書室の整備・充実（蔵書数の充実、効率的な図書管理・運営等）への取り組みが求められる。

町民のニーズに応える学習施設の充実を図ることは自治体の文化程度を高めることにもつながることである。みなかみ町は図書館のない自治体として、県内35市町村のうちの14町村の中に入っている。「豊かな心と文化を育むまち」を目指すみなかみ町としては、生涯学習の基盤ともなる図書館の新設は大いに期待されるところである。

社会教育委員の事業のなかで、図書室の在り方等が検討されているが、先進地の運営方法やサービスの状況などを参考にしながら、できるだけ早く町民が望むより良い方向性を見出し、具体的な取り組みへとつなげていくことを期待したい。

2 生涯スポーツの推進

「週1回以上運動・スポーツをしている町民」の割合は、平成23年度と24年度は46%程度で全体的にはほぼ横ばいの状況にあるが、その中において、20歳代と70歳代以上の年代にやや落ち込みが見られているのが気になるところである。

科学技術の進展、少子化・高齢化の進行等々により社会生活にも大きな変化が見られてきている。それだけに、時代に即応し、なおかつライフステージに応じた弾力的な生涯スポーツの推進計画が肝要となる。町としてもその点を踏まえ、体育協会やスポーツ推進委員会を核に町民のために種々なるサービスや支援に努め、その成果の程も出ているように思われる。

今後も、さらに町民の運動やスポーツに対する意識・参加状況等の把握に努め、その分析を基に、より一層町民が容易に参加することができ、親しむことのできる（町民の要望も取り入れた）創意工夫ある生涯スポーツの推進を期待したい。

体育施設の利用者は平成23年度と比べて6,847人増加している。その要因の一つとして、夏季の合宿等で町外からの利用者の増加があるとされている。利用が増えることは良いことだが、そのことにより町民の利用が制約される問題も出ているようだ。町内と町外の利用者の調整がうまく図れるよう施設利用の在り方を検討していく必要があると考える。

3 文化財の保存と活用

みなかみ町は、他の自治体に比較して指定文化財の数が多い状況にあるが、その活用の在り方が今後求められている。

新しい文化財を掘り起こし指定していくことも重要なことだが、同時に文化財の価値の認識（重要性）を高めるとともにその保存管理に努め、文化財が町民の身近なものになるよう、一般町民レベルに合わせた分かりやすい具体的な啓発普及活動を行う必要がある。

伝統芸能における後継者の減少は憂慮すべき点であるが、後世に伝える貴重な財産として、引き続き保護継承のための積極的な支援・施策が必要である。

また、「文化財の活用」については、効果的な資料館の在り方をはじめ、生涯スポーツや公民館事業とタイアップした形で、運動や遊び的な観点を取り入れた文化財巡りを考案するなど、町民が気軽にかかわることができるような具体的な施策を検討する必要がある。

関係機関・団体（歴史ガイドの会等）と連携した活動及び現在休止している「歴史を活かしたまちづくり事業実行委員会」活動の本格的な稼働を期待したい。

教育委員会の点検・評価報告書
(平成24年度事業対象)

平成25年12月発行

編集・発行 みなかみ町教育委員会
〒379-1393
群馬県利根郡みなかみ町後閑318番地
TEL 0278-62-2275